

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根２号機 設計及び工事計画）【３３６】
2. 日 時：令和４年１２月１３日 １３時３０分～１６時００分
3. 場 所：原子力規制庁 ９階Ｄ会議室（ＴＶ会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・ＴＶ会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
三浦主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、中村主任安全審査官、
谷口技術参与

技術基盤グループ

大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他５名

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他６名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和４年３月２３日 第７３回原子力規制委員会 配布資料２）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁のチギラです。それでは、嶋李原子力発電所 2 号機の設工認のヒアリングを開始します。
0:00:09	本日の説明項目は、強度計算書の防波壁逆T擁壁と、
0:00:15	流路縮小工となります。それでは、資料の確認と本日のヒアリングの進め方について、説明をお願いします。
0:00:25	はい、中国電力志水です。それではまず、資料の確認からさせていただきます。
0:00:31	お手元の資料、ご覧いただきまして資料番号、NS2ー他ー231 回 07。
0:00:40	コメント整理表になります。回答整理表になります。こちらがナンバー1といたします。
0:00:48	続きまして、NーS2ー. 3ー015ー01 の会 01。
0:00:56	こちら共同計算の基本方針を②番とさせていただきます。
0:01:02	続きまして、NS2ー. 3ー015ー03、逆T擁壁の強度計算書、こちらを丸さんとさせていただきます。
0:01:16	続きまして、NーS2ー添 3ー015ー06、るり 6 小コウノ共同計算書を、④とさせていただきます。
0:01:30	続きまして、NーS2ー報ー027ー08 回 11、浸水防護施設耐震性に関する説明書の補足説明資料、こちらを丸ごとさせていただきます。
0:01:43	資料は以上になりますが、おそろいでしょうか。
0:01:47	はい。資料の方はそろっております。
0:01:52	はい、ありがとうございます。それでは本日の進め方についてですけれども、まず 1 号機取水槽流路縮小工の共同計算について、
0:02:03	説明をさせていただきますして、そのまま質疑をさせていただき、
0:02:09	流路縮小工についての質疑が終わりましたら、続けて、逆T擁壁の説明、それから、
0:02:17	質疑の方へ移らせていただこうと思っております。
0:02:21	で、二つの案件とも新規の説明になります。まず流路縮小工につきましては説明時間を 20 分程度を考えております。
0:02:31	また逆T擁壁の説明につきましても、20 分程度の説明を、
0:02:36	予定してございます。
0:02:37	こちらの進め方でよろしかったでしょうか。
0:02:41	はい。規制庁宇津木です。進め方について承知しました。じゃあ、詰めてください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:48	はい。中国電力清水です。それではまず、流路縮小工の説明について始めさせていただきます。
0:02:54	お手元の資料、⑤番の方、
0:02:58	こちらの通しページ 137 ページをご覧ください。
0:03:09	ここから 1 号機取水槽流路縮小工の共同計算に関する補足説明としてなっております。
0:03:16	137 ページは目次となっております。
0:03:19	138 ページをお願いします。
0:03:23	ここには本資料の概要としまして流路縮小工が津波荷重及び余震に頼る荷重に対して構成部材で構成しており、その主要な構造部材が構造健全性を保持することを確認するものということで記載してございます。
0:03:39	次のページ 139 ページをお願いいたします。
0:03:44	こちらには流路縮小工の配置関係を記載してございます。
0:03:50	2.1 の 1 名は、設置位置図、また 140 ページには、1 号機取水槽の中での流路縮小工の設置位置をお示しております。
0:04:00	141 ページをお願いします。
0:04:03	こちらには、構造計画を記載してございます。
0:04:06	流路縮小工は、1 号機取水管からの流量、津波の流入を抑制するため、
0:04:13	1 号機取水管の流路を構成宿舎を案により縮小するものでございます。
0:04:19	縮小工は、1 号機取水管のタンプのフランジに構成の縮小版を、
0:04:25	取り付け版を固定ボルトにより固定する構造としてございます。
0:04:30	表 2.2－1 に、流路縮小工の構造計画として、構造概略図を記載してございます。
0:04:37	142 ページをお願いします。
0:04:40	ここから評価方針を記載してございます。
0:04:44	流路縮小工の評価項目を表 2.3.、表 2.3－1 にお示しております。
0:04:52	評価部位としましては、縮小版固定ボルト、主隣管フランジ部としてございまして許容限界は、いずれも短期許容応力度としてございます。
0:05:04	共同評価フローを、
0:05:06	図 2.3－1 として、次のページに記載してございます。
0:05:14	ことにまして 142 ページです。強度評価に用いる荷重及び荷重の組み合わせとしましては、津波時及び上、次、
0:05:26	実施津波と余震に伴う荷重作用の重畳時を考慮してございまして、それぞれにおいて評価される最大荷重を設定します。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:36	津波時における津波荷重は、日本海島縁部を波源とした津波による津波荷重とし、重畳時における津波荷重は、海域活断層を波源とした津波に対して、検討いたします。
0:05:50	重畳時における余震荷重とし、弾性設計用地震動SD-Dによる地震力といたします。
0:05:58	新荷重の設定につきましては、
0:06:01	SD-Dを入力していただいた1号機取水槽北側壁の応答加速度を考慮して設定した設計震度を用います。
0:06:10	144ページをお願いします。
0:06:15	こちらには適用規格基準類を記載してございます。
0:06:20	148ページをお願いいたします。
0:06:25	こちらには評価対象部位について記載してございます。内容としては先ほどと同様になりますがこちらには図面、正面図を記載してございます。
0:06:36	縮小版と固定ボルトの方角ツリー図3-1の(1)に記載してございます。
0:06:42	また、次のページ149ページには、
0:06:45	この縮小版を横から見て取付部を拡大して記載した図として、図3-1、(2)として記載してございます。
0:06:56	150ページをお願いいたします。
0:07:00	ここから構造強度評価として記載してございます。
0:07:05	4.2から荷重及び荷重の組み合わせとして記載してございまして、(1)津波時においては、固定荷重と津波荷重、
0:07:15	それから(2)重畳時とし、固定荷重と津波荷重に加えて余震荷重を考慮するということを記載してございます。
0:07:23	151ページをお願いします。
0:07:27	こちらには、荷重の組み合わせとして永久荷重余震荷重、また、浸水津波荷重、
0:07:33	のうち、どれを考慮するかということを記載してございます。
0:07:38	152ページをお願いします。
0:07:42	オカダは荷重の設定方法について記載してございます。
0:07:47	(2)浸水津波荷重につきまして、
0:07:50	まず、aポツとして正水圧の設定につきましては、流路縮小工の上下流の水位差を考慮した静水圧を考慮することとして、
0:08:00	貸金こちらに記載の式により算定することといたします。
0:08:06	B没効力とし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:08	抗力は港湾基準に基づき、こちらに記載の式により算定いたします。
0:08:14	このうち、抗力係数Cdにつきましては、
0:08:18	すでにご説明しましたが、津波への配慮に関する説明書において、
0:08:23	記載している筒井模型実験により、
0:08:27	抗力係数Cdは 0.51 であることを確認してございますが、
0:08:33	流路縮小工の強度評価におきましては、
0:08:36	安全側に評価する観点から、港湾基準に記載されている抗力係数のうち最大である。
0:08:43	2.01 を採用することといたします。
0:08:46	153 ページに港湾基準からの抜粋を記載してございまして、
0:08:51	このうち、中央の平和となっているところに赤枠で囲っている、2.01 としている抗力係数を用いことといたします。
0:09:02	cポツ、次、摩擦による水力となります。
0:09:06	こちらにつきましては水門鉄管技術基準に基づきまして、
0:09:10	こちらに記載の式により算定することといたします。
0:09:14	154 ページをお願いします。
0:09:19	次に(3)余震荷重として記載してございます。
0:09:23	余震荷重、余震深度の設定方法につきましては先ほど申し上げた通りですけれども、なお書きとして記載しておりますが、
0:09:31	与信深度につきましては、
0:09:35	流路縮小工の耐震性についての計算に関する補足説明に記載する。
0:09:41	こういう振動数の計算結果より、構造として考慮し、
0:09:46	1 号水槽の地震応答計算書の地震応答解析結果を用いることといたします。
0:09:53	この余震震度を用いまして、下にありますaポツ、慣性力とbポツ、動水圧について算定し、いたします。
0:10:02	155 ページをお願いいたします。
0:10:07	ここからは、先ほどまでの説明にありました算定式を用いた荷重の算定を記載してございます。
0:10:14	155 ページ 156 ページには、静水圧抗力、摩擦による水力、
0:10:20	といった津波に関する荷重の算定結果をお示ししております。
0:10:26	これらの算定には、津波の水位、水位差、それから、流速についての検討を行った上で、エセ設定しております。
0:10:36	こちらにつきましては、参考資料 1 にお示ししておりますので、ご説明させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:42	186 ページをお願いいたします。
0:10:54	これは参考資料 1 としまして、
0:10:56	先ほどの A と申し上げた通りの検討を記載してございます。
0:11:02	187 ページをご覧くださいますと、
0:11:05	こちらに記載の 1 号機取水施設、
0:11:08	の平面図、断面図を図 1-1、1-2 に示しておりまして、これを管路解析モデルとしたのが図 1-3 となっております。
0:11:18	なお、1、1 号取水施設の管路解析モデルにつきましては、設計の進捗に伴いまして、1 号取水槽ピット部の閉塞を反映したものと、
0:11:28	して、今回管路解析をしてございます。
0:11:32	図 1-3 の回路解析モデル図の見方ですけれども、右手側が海となっております。左手の方に取水槽があるということになっております。
0:11:42	右端の池一井池 2 というのが取水口さしておりまして、そこから二条の取水管を経て、取水槽に至ります。
0:11:51	取水槽に入ったところで、取水槽全カクダクト部というところで、
0:11:55	池 4 池後に入っていきます。そのあと、一番大きい計算ということで、取水槽除じん機ポンプ室に入ってくるモデルとなっております。
0:12:07	次のページに、取水槽モデル化の概念図としてお示ししておりまして、全カクダクト分を青色町仁義室本ポンプ室を緑で示しております。
0:12:22	189 ページをお願いします。
0:12:24	静水圧の算定にあたって用いる水位の設定の考え方についてお示ししております。
0:12:33	こちらでは、流路縮小工に作用する静対圧が最大となるよう、管路解析モデルにおいて上流である池市と池に、それから下流である池 4 問 5 の水位差が最大となる時刻における、
0:12:47	杉尾さん、選定しております。
0:12:50	それ、選定結果につきましては 190 ページに記載してございます。
0:12:57	まず(1)としまして、津波時、
0:12:59	の選定結果をお示ししております。表 2.1-1 をご覧いただきまして、こちらの赤枠で囲っているケース 3、
0:13:09	において、上下流の水位差 8.46 というのを、水圧の算定に用いることといたします。
0:13:17	また、ショウジュにつきましては、(2)として記載しておりますが、
0:13:21	こちらの表に赤枠で記載の通り、ケース 11 で最大水位差 2.35 メートルを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:28	用いることといたします。
0:13:31	191 ページをお願いします。
0:13:36	次に、動水圧の選定に、
0:13:39	についての検討でございます。
0:13:41	動水圧の算定に用いる水は、全カクダクト分の池 4、また池後の水が最大となる時刻の水を選定いたします。
0:13:52	選定結果としましては 192 ページの表 2.2－1。
0:13:58	に記載の通り、
0:14:00	3.36 メートルの推移を用いることといたします。
0:14:06	193 ページをお願いします。
0:14:11	ここでは抗力及び摩擦による水力の算定に用いる流速の検討を行っております。
0:14:19	いう、管路解析モデルにおいて、流路縮小工が設置される節点 8 または節点 16 の流速が最大となる時刻の流速を選定いたします。
0:14:31	検討結果としましては 194 ページに記載してございます。
0:14:36	まず、津波時についてでございますけれども、表 2.3－1 に記載の通り、接点 16 におきましてケース 8 で 10.67 メートル医療というのが最大になりましたので、
0:14:48	設定する流速としては、これを切り上げ 10 メートル毎秒とすることとします。
0:14:55	194 ページをお願いします。
0:14:59	こちらでは重畳時の流速について検討しております。
0:15:04	2.3－121 検討結果をお示ししておりますが、ケース 12 におきまして、5.159 メートル毎秒が最大ということでございましたので切り上げて、流速 6 メートル毎秒を設定することとしております。
0:15:19	157 ページお願いします。
0:15:32	ここからは、慣性力の荷重の算定について検討してございます。
0:15:38	慣性力につきましては、余震振動を用いることとしております。
0:15:42	新深度につきましては、1 号機取水槽の地震応答計算書の地震応答解析結果より、
0:15:49	図 4.2－2 に示す赤枠で示している流路縮小工が設置される位置での加速度を抽出し、流動を考慮した振動を用いることとしております。
0:16:01	設定結果としては表 4.2－6 に示しておりまして、
0:16:06	計算結果のえられる最大加速度は 405 センチメートル毎秒埋蔵となります。これを踏まえ、余震震度は 0.7 としております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:18	159 ページをお願いします。
0:16:22	ピラニア動水圧の算定について示しております。
0:16:25	動水圧の算定に用いる設計震度は 0.7 を用いております。
0:16:32	160 ページをお願いします。
0:16:35	荷重の選定としまして津波時及び重畳時の作用荷重を表 4.2－9 にお示しております。
0:16:43	まずか表 4.2－9(1)として縮小版、固定ボルトに作用する荷重、
0:16:50	(2)にフランジ部に作用する荷重として分けて書いておりますが、
0:16:54	津波時と常時の、今ほどまでご説明した慣性力、その他荷重を、
0:17:02	足した合計値を表の一番下の行に示しておりますが、
0:17:07	こちらの大きい方の荷重、
0:17:09	を見まして、その津波時、違まして、重畳時の荷重をかけた設計計算をすることといたします。
0:17:21	と 161 ページをお願いします。
0:17:24	今では許容限界についてお示しております。
0:17:27	いずれの表、部位におきましても材質はSS400 を用いております、
0:17:34	表 4.3－2 に示す、短期許容応力度を用いて評価、評価をいたします。
0:17:41	162 ページをお願いします。
0:17:45	評価方法としまして、まず縮小版の検討に、
0:17:50	検討で考えているモデル図をお示しております。
0:17:54	違う縮小版に作用する等分布荷重を、
0:17:57	(1)に記載しております。
0:18:00	163 ページをお願いします。
0:18:04	この等分荷重を用いまして、縮小版に作用する曲げモーメントを算定いたしまして、
0:18:10	164 ページに記載している通り、最大曲げ応力度及び最大せん断応力度を算出いたします。
0:18:18	165 ページをお願いします。
0:18:21	て、次に固定ボルトの評価は、方法についてお示しております。
0:18:26	固定ボルトにつきましては、固定ボルトに作用する最大引張力、
0:18:31	を算定し、最大応力度を算定することとしております。
0:18:38	166 ページには、取水管フランジ部に作用する荷重から、
0:18:45	局、
0:18:46	67 ページに記載の通り、曲げモーメントを算定いたしまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:51	最大曲げ応力度、また、168 ページに記載の通り最大せん断応力度を算定するようにしております。
0:19:01	170 ページをお願いいたします。
0:19:04	こちらで評点 6 としまして応力計算をしております。
0:19:11	これらの結果を踏まえて 183 ページ。
0:19:15	をお願いします。
0:19:18	183 ページには、5 ポツ評価結果といたしまして、表 5.1-1 に、
0:19:24	強度評価結果を記載しております。
0:19:28	最大の照査値は 0.70 となっております、すべての部材において、応力度が許容限界以下であることを確認してございます。
0:19:37	続きまして、②の資料。
0:19:41	をご覧くださいませでしょうか。
0:19:49	こちらにつきましては施設の強度計算の基本方針を記載してございます。
0:19:56	2 ページを開いていただきまして、
0:19:59	強度評価の対象施設としまして 1 号機流路縮小工表の中段あたりにお示しております。
0:20:09	6 ページをお願いします。
0:20:11	こちらにつきましては流路縮小工の設計方針。
0:20:14	について記載してございます。
0:20:18	すいません。強度基本方針の説明の前に少し、
0:20:23	説明がおうとしてしまったんですけれども、こちらにつきましては、11 月 24 日に提出したものでございまして、
0:20:31	流路縮小工の設計進捗に伴う変更等が必要なところもございしますが、
0:20:38	変更の方は、今回は A としておりましたので、次回以降で修正をさせていただこうと思っております。今回は記載、
0:20:47	内容についてのみ、
0:20:49	ご説明をさせていただこうと思っております。
0:20:56	すみません、ページ少し飛びまして、
0:21:03	53 ページをお願いします。
0:21:09	こちらには荷重及び荷重組み合わせとして津波荷重に用いる津波のパラメーターを表にしてお示しております。
0:21:19	こちらの表の一番下に、1 号機取水槽流路縮小工の設計津波水位の情報が、を記載してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:28	こちらについては設計の進捗に伴いまして、取水口に厳しくなる評価として、海から陸へ向かう流れによる荷重が厳しいと考え、その荷重をかけることとしまして、
0:21:41	管路解析結果を分析し、設計計算を行ったこと、ことから本表の数値につきましては、先ほどの補足説明資料の説明を踏まえ、
0:21:52	見直しをさせていただきたいと思っております。
0:21:56	これ以降も許容限界等について設計方針の記載がございますが、先ほど申し上げた通り、
0:22:02	今後の記載のほうを適正化をさせていただきたいと思っております。
0:22:09	最後に、④の資料をお願いいたします。
0:22:17	こちらは、1号機取水槽流路縮小工の強度計算書としまして、補正申請を出したものを、
0:22:25	となっております。
0:22:27	こちらにつきましては補足説明資料の作成において、
0:22:31	わかりやすさの観点から記載を見直し、相似、その内容をこちらの計算図書の方にも反映してございます。
0:22:43	今後、この、こちらの変更をかけていくということを考えてございます。
0:23:16	あ、規制庁のチギラですが、
0:23:20	中国電力本社さん、今聞こえてますでしょうか。
0:23:24	中国電力清水です。はい聞こえております。
0:23:29	今の説明は以上ですか。
0:23:32	すいませんはい漏れておりました、流路縮小工に関する説明は以上となります。
0:23:38	はい、わかりました。それでは流路縮小工について 050204 ということで説明いただきましたので、
0:23:48	説明いただいた内容について確認する点がある方、お願いします。
0:23:59	規制庁のミウラです。ちょっと違私の方からいくつかから確認させてください。
0:24:05	資料 4。
0:24:07	添付資料の共同計算書ですね、補足資料でもいいんですけど、
0:24:13	その 4 ページなんですけど、
0:24:16	表 2-1、2、構造計画ってことで、組み立てずって記載されてますよね。
0:24:23	この組み立て図の、
0:24:25	下半分ってこれ、どこの部分を記載されてるんですか。
0:24:29	上の方は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:30	縮小版のあってその下が切れてますよね。
0:24:35	でも半分以下はこれ、
0:24:37	2枚のプレートが並行して並んでるんですが、これ、どこの部分を示されてるんですか。
0:24:42	すいません教えてください。
0:24:45	中国電力清水です。はい。こちらの、
0:24:49	水平線でEL4.9メートルと組み立て図の方に水平線ありますがこちらで取水管の中心線となっております。
0:25:00	その下半分と上半分で書き方を変えているというところで、少し見えにくくなっておりますが、まず、上半分につきましては、下の縮小版の開口を有する、この中心の
0:25:13	阿部線の、
0:25:15	断面となっております。
0:25:18	上の組み立て図の下半分につきましては、
0:25:21	縮小版、下の図で言いますと、この外縁部といいますかそれを側面から見たような、
0:25:30	お子様それ、そういった意味で書いております。以上です。
0:25:36	いや、すみません多分そうだと思ったんですが、この図からそれ読めないですよ。
0:25:41	今、
0:25:44	特に下、下の部分ですよね。
0:25:46	この部分はどこをどう見て書いているかっていうのは、ちゃんと記載をしてください。
0:25:52	いかがですか。電力シミズです。はい、承知いたしました。
0:25:57	はい。檀断面の位置を示す線を縮小版の方に加えるなどして、
0:26:04	させていただきたいと思います。以上です。
0:26:07	はい、お願いします。
0:26:08	次に同じ添付資料の10ページ。
0:26:12	なんですが、これちょっと気になったんですけど。
0:26:16	この固定ボルトがあって、その固定ボルトと、
0:26:23	例えば縮小版のエンド部分。
0:26:26	その間の減し開き、
0:26:30	短距離っていうんですかね。
0:26:32	Vとプレートとの間の距離ってこれどのぐらいあるんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:43	中国電力清水です。Vとプレー、エンドウのプレートということでN24-27と書いてあるところ。
0:26:53	と固定ボルトと書いてある固定ボルトって書いてありますよね。そこに、
0:26:58	例えば縮小版のエンド部分がありますよね。
0:27:03	あその距離、
0:27:06	遠距離だけど、それどのぐらいあります。
0:27:10	年少々お待ちください。
0:27:26	中国電力清水です。ちょっと、今すぐ出てこないですがちょっと資料を探しましてこのヒアリングの中で回答させていただければと思いますが、いかがでしょうか。はい。それで結構です。例えば、
0:27:40	これいろんな規定等で例えば、構造設計基準なんか見ると、
0:27:45	このエンドウ部分に対してどのぐらいとれっていう。
0:27:48	円短距離幾つとりなさい最初っていう規定があるんですね。
0:27:52	それを満足してないんじゃないかなというふうに思うので、
0:27:57	どのぐらいの円短距離を取ってそれはどういう種、基準指針に基づいて決めてるかっていうのを説明してください。
0:28:07	中国電力清水です。
0:28:09	はい。ちょっと今日のところでどこまで答えられるかわかりませんがはい。承知いたしました。
0:28:17	はい。それとですね、
0:28:20	続けて、
0:28:25	資料 5、5 ですかね。
0:28:28	補足説明書の方の、
0:28:34	162 ページ。
0:28:44	ここで 4.4 評価方法で 4.4. 1 縮小版。
0:28:49	て書いてますよね。
0:28:51	そこで共同評価を実施するときに、外径を固定とする、有効エンバンに当部分荷重が作用するとして検討しますと。
0:29:01	いうふうに書いてんですが、外たん固定だ-ここにきて、
0:29:05	そこを固定にすることによってを流下してきますよね工程単にその処理はというふうにされてるんですか。
0:29:16	中国電力シミズです少々お待ちください。
0:29:37	中国電力清水です。
0:29:39	500、
0:29:41	63 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:42	において算出している曲げモーメントがございますけれども、
0:29:47	こちらの方で固定外注固定をしていることによる方面等を算出していると考えております。
0:29:58	以上です。
0:29:59	すいません規制庁ミウラ 163 ページに作用してるモーメントっていうのはこの固定パンのモーメントなんですか。
0:30:11	厳しい残ってたんだから、
0:30:13	キャンキャンてればみたいな形でもめたんでそれは、
0:30:17	ここで処理をしていますってことですか。
0:30:21	中国電力志水はいそのように認識してございます。そのモーメントに対する、
0:30:28	グループみたいな入ってくると思うんですがそれは固定ボルトの方で力にちゃんと考慮して断面検定をされてるんですか。
0:30:39	中国電力清水ですはい。こちらに採用する。
0:30:44	中を、固定ボルトの方で、えて、
0:30:47	それをモリタのオオシオさん。
0:30:50	を行っております。すいません固定ボルトに入ってきている応力っていうのは、このモデルからどういうふうに算定されてるんですか。
0:30:59	固定ボルト等は、丹新居。
0:31:02	何て言うか水力とか何だこうだっていう、いろんな荷重、
0:31:06	慣性力とかってそれに対しての、
0:31:09	トータルの
0:31:11	引張荷重に対してボルトで割り込んで応力を出されてるんじゃないんですか。
0:31:17	中国電力伏見です。はい。160。
0:31:21	ご覧いただいていると思いますが 165 ページの固定ボルトの計算に用いる
0:31:27	引張力はATとしまして、そちらにつきましてはアノ=PJと記載してございます。
0:31:34	PJにつきましては、
0:31:45	160 ページをご覧いただきますと、
0:31:48	こちらに作用する水平力の合力ということで水力だけだと、例えばに生じてくるボルト能力にこれ、チェックされてないんじゃないですか。
0:32:02	確かに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:06	中国電力清水です。はい。確かに今、水平力を、に対するボルトの設計ということをしてございますので、曲げモーメントの考慮の方は、現状してございません。その辺の功劳、
0:32:20	どういうふうに考慮するかってのはあるんだろうけど、ちょっと今のままだと、
0:32:26	計算書としては少し不備かなという気がします。今言ってたように、単純に、
0:32:32	押される力、それにタブー幹部に入ってくるプレート能力をボルトで処理しなきゃいけないので、
0:32:39	それは少し考えてチェックをしてください。よろしいですか。
0:32:45	中国電力清水です。はい。おっしゃられる趣旨を理解いたしましたので、検討いたします。以上です。はい。規制庁の植田です。もう1点なんですけど、
0:32:57	やはり補足説明資料の5番から5番の166ページ。
0:33:03	ここで取水管のフランジ部のCAPEチェックをしていますよね。
0:33:08	植野3行目に書かれてるように、内径をこれ固定としてるんですよね。
0:33:14	そうずっとここにも固定丹野モーメント。
0:33:17	等が入ってきますね。
0:33:19	そのモーメント等を処理しなきゃいけないですよ。
0:33:23	それを処理するのは、
0:33:27	感動部。
0:33:29	ということになるんじゃないかなと思うんですよ。
0:33:32	そのチェックはされてますか。
0:33:41	今ちょっとわかりやすく言うと165ページもこれ見ていただくと、そこで今取水管のフランジ部、
0:33:48	これのチェックをされてるんでねズー4-4-2で見ると、フランジ部をエンバン部エンバンでない単固定としてそこに、
0:33:58	荷重をかけて応力を見、出して調査しますっていうストーリーになっていると思うんですよ。
0:34:04	そうずっと、成田が固定なので、その固定単モーメントを何らかの形で処理しないと駄目ですよ。
0:34:10	でそれを処理できるのが、ここで書かれている取水槽間胴部って書いてある部分だと思うんですよ。
0:34:17	それで、
0:34:18	これ、フランジ部って40mmぐらい確かあったと思うんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:23	感度部で 28 ミリなので、
0:34:25	ここに生じてるない丹野モーメント等はこの感動部で処理できてるかって確認はされてますかっていうのが私の質問です。
0:34:34	中国電力志水です。はい。ちょっと感動部の評価につきまして、
0:34:40	その観点での検討は、今確認できておりませんので、
0:34:47	また先ほどの検討と併せまして、回答させていただきたいと思います。はい。お願いします。単純にモデル化して固定だとかで、こう聞かれちゃうのは構わないんですから、
0:34:58	固定他にしてしまうとそこでやっぱり応力を生じてくるんでその力を何らかの形で処理しないと、
0:35:04	一つの設計にならないので、
0:35:07	今申し上げたように、
0:35:10	縮小版。
0:35:12	あとはフランジ部、これの固定等行ったところの、
0:35:16	応力をどのように処理してるか。
0:35:18	いうのを、検討して説明をしてください。
0:35:23	よろしいでしょうか。
0:35:26	中国電力清水です。はい。いずれも同じような観点から、流れで確認すべきところかと思いましたが、はい。検討いたしまして、回答いたします。はい。私からは以上です。
0:35:49	規制庁のタニグチです。今三浦の方からもあった話、やっぱりその部分やっぱ気になります。
0:35:57	先ほどの 165 ページ目のところの、
0:36:03	図の 4.4-2、取水管のモデル図のところですけども、
0:36:08	これが、取水管のフランジ部は 50 ミリ、
0:36:12	それから固定ボルトをつけてるところの紙縮小版が 44 ミリ、
0:36:17	それからそれを止めてる、周りの傷む 44 ミリ、これだけで、相当厚いものがあって、
0:36:27	それを集水管の 28 名の汚水周時間で、今のヤギを処理してるって形になりますので、ちょっとやっぱりこの部分についてはきっちり、
0:36:38	検討していただいて、ちゃんと前処理できてるか、やっていただくようにお願いします。
0:36:47	以上です。
0:36:53	中国電力清水です。はい、ご趣旨理解いたしました。ありがとうございます。検討いたします。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:02	あ、規制庁のハットリです私から少し記載の部分について確認します。
0:37:09	141 ページをお願いします。
0:37:12	先ほど三浦の方から組み立て図の下の部分、これ何ですかって話があったと思うんですが、
0:37:18	この上の部分の、
0:37:20	武将サイズってのはどっかに書いてありますか。
0:37:28	中国電力清水です。そうですねこちらの次は、A部詳細図は記載してございません。以上です。
0:37:36	規制庁の服部です。そうするとこの武将サイズのこのマルはいらないってということでよろしいですかどうぞ。
0:37:48	中国電力清水です。はい。ちょっと余計な線が入ってしまっていると思いますので削除させていただきたいと思います。以上です。
0:37:57	規制庁の服部ですはい。わかりました。
0:38:01	うん。
0:38:03	武将サイズを入れるところもないので、
0:38:07	入れ、入れるのかなと思ったけど削除するというのも一つ案としてありますんで、
0:38:12	ちょっとその辺についてはうまく処理していただければと思います。
0:38:19	これは記載の話だけです。
0:38:22	あと 153 ページをお願いします。
0:38:30	を、
0:38:32	規制庁のハットリです。
0:38:34	すいません水圧鉄管の、
0:38:37	基準がちょっとないので、
0:38:40	ちょっと確認をしたいんですけど。
0:38:43	この摩擦による水力というのは、
0:38:46	どういう概念のものなのか説明していただけますかどうぞ。
0:38:56	中国電力清水です少々お待ちください。
0:39:29	中国電力清水です。
0:39:31	お待たせいたしました。
0:39:36	96.9。
0:39:37	196 ページをお開きいただいてもよろしいでしょうか。
0:39:48	こちらの表 1 の右下になりますけれども、
0:39:52	推力ということを記載してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:56	こちらにつきましては、右手から流れが来るという絵になってございますが、
0:40:01	そちらのフローによって流れが右から左に生じます。
0:40:06	それに対して、この
0:40:08	いわゆる壁面の摩擦、
0:40:11	のようなものですが、
0:40:13	縮小版のこの細い先端のところに、少し摩擦力がかかることを推力として呼んでおります。それに対して、縮小版が抵抗する必要があるということで、
0:40:26	抵抗力ということを記載してございます。
0:40:29	ちょっとお答えになってますでしょうか。
0:40:32	規制庁の服部です。これあれですかね縮小版の、この渥美の部分の摩擦力。
0:40:39	ということでよろしいですか。はい。中国電力ヨシツグです。おっしゃられる通りで、本来ならあの水管、水圧鉄管の中をこうずっと延長が通るときの摩擦として間にかかっている。
0:40:51	進行方向にかかるような摩擦なんですけれども、今回の場合は、
0:40:56	当社の場合は、流量縮小版ということで版の厚さ薄いので、もうあまり影響はないという整理をするんですけど一応数字として確認したということでこの式で用いております以上でございます。
0:41:15	規制庁の服部です。
0:41:18	もう1回確認ですけど、数字は出してるけど、余りにも小さいので、設計の荷重にはそれは入れてないということでよろしいですか。
0:41:28	中国電力清水です。はい。
0:41:31	はいその通りでございまして156ページに、摩擦による水力として0.07 kNとかそれぐらいの数字になっておりまして、
0:41:42	160ページに荷重を集計をしておりますけれども、この辺りで申しますと四捨五入ルール等の関係で0となっておりますので考慮
0:41:54	はしているんですが最終的には落ちてるという格好になってございます。以上です。規制庁のハツトリですはいわかりました私ちょっとここはうまく読んでなかったんですが、
0:42:04	十分に小さいことから考慮しないということで書いてあるということで、理解をしました。
0:42:10	それから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:14	当間ページはちょっと特に関係ないんですけども 184 ページを例えば見ていただきたいんですが、
0:42:21	これ今回脳開口率、
0:42:25	を決めるプロセス。
0:42:27	というのは、
0:42:29	何かこう、
0:42:30	説明が、
0:42:33	ないんですけど、結果的に、
0:42:37	ある開口率を仮定して、それでやってみたら、
0:42:42	水位が下がったのでそれでOKですということなのかもしれないんですが、
0:42:48	そこら辺のプロセスって何かこう示したりできませんかね。
0:42:52	私のイメージとしては、許可のときに、いろいろ開口率に応じて水位が上がったり下がったりするようなグラフがあって、
0:43:01	それをもとに、
0:43:02	開口率を幾つかに仮定してやってみたら、こんだけ下がりました。
0:43:09	なので、開口率をこう決めましたというプロセス。
0:43:13	があったような記憶があって、
0:43:15	それが設工認の方にもう、
0:43:18	あった方がいいんじゃないかなということで、ちょっと確認してるんですがいかがですか。
0:43:25	中国電力の清壺岐です。今服部さんおっしゃっていただきました通り、この損失水頭を決めるに当たりましては、
0:43:33	計算上ですが開口率を仮定しまして、損失を出してどれぐらいの開口率であれば、水頭を下げるということを検討しております。で、そのうちの一つのケースについて、
0:43:46	そういう模型実験を行って、その妥当性も確認してご説明させていただいたという経緯だと思っております。そちらの設置許可でのご説明資料こちらにつきまして、
0:43:56	ご説明の方補足させていただきたいと考えております。以上です。
0:44:00	規制庁のハットリですはいわかりました水理模型実験のところまで私ちょっと気出演をしていたんですけどそこら辺も含めて、説明しただけしていただければ、
0:44:12	よりこのプロセスが明確になると思いますのでよろしくお願いします。
0:44:18	あと私からあと 2 点ほど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:21	すみませんこれもちっと確認なんですけど、
0:44:24	ちっと私が間違ってるかもしれないんですが、
0:44:27	191 ページをお願いします。
0:44:36	ここの動水圧の式なんですけれど、
0:44:39	すいません記憶があやふやで申しわけないんですが、
0:44:43	8 分の 7 がついてるというのは、
0:44:46	これ自由水面の動水圧の式だったような気もしないでもないということで、
0:44:52	この動水圧というのは、
0:44:55	これ、
0:44:56	自由水面があるときの動水圧ではなくて、固定水のような動水圧なんでしたっけ。
0:45:02	ちっとと念のために事実確認だけさせてください。どうぞ。
0:45:09	中国電力志水です。すいません。ちっと確認いたしますので少々お時間をいただきたいと思います。
0:46:13	すいません。中国電力の磯です。
0:46:16	すいません表イデお待たせいたしました。
0:46:19	今回ですねこのウエスタガードの式は港湾基準から記載をしております、ここの基準のところですね、ちっと書いてある記載を少し読み上げさせていただきます。
0:46:29	水中にある構造物及び施設の内部の空間の一部または全体水はシール部場合に考慮する、動水圧というふうになってございます。ですので、
0:46:39	ちっとごめんなさい、自由水面云々ってすいませんあまりちっと、
0:46:44	宇和ないのかなと思っているんですがちっと今回の縮小行為はこの式は適用できるものと判断しております。すいません以上です。
0:46:52	規制庁のハットリですはいわかりました私もちっと、
0:46:58	今ちっとすいません今聞いてちっと思いつきで聞いたんでちっと私も後で調べておきますけども、
0:47:07	港湾のな港湾基準の中で、水没したものに対して動水圧の式があってそれが適用性があるということであれば、
0:47:18	それで結構ですけれども、もう一度ちっと確認していただいて、適用性の方だけ確認しといていただけますかどうかどうぞ。
0:47:28	中国電力清水です。はい、承知いたしました。
0:47:33	規制庁のハットリです。はいわかりました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:34	規制庁のハットリですはい。いずれにせよ何か考え方は、示していただいて、
0:48:40	していただければと思います特に、どうですかね資料に示すというよりも口頭での説明でも結構ですけど、そこら辺を少し考えていただいて、
0:48:49	説明していただければと思います。よろしいでしょうか。はい。中国電力ヨシツグでございます。
0:48:55	はい。
0:48:56	こちらにつきましては、
0:49:01	それとこの率いの今、他のコメントをいただいておりますので、それらのコメント等の補足の中でですね、この式を使っていることについての説明をまた補足でちょっと口頭でさせていただけたらと思います。以上です。
0:49:15	規制庁のハットリですはいわかりました私から最後になりますけれど、ちょっとこれも念のための確認で、前回確認したかもしれないんですがちょっともう1回、
0:49:25	この流量縮層厚に対する運用、
0:49:30	については、
0:49:32	保安規定カーまたその下位文書等で何かきちんと示される。
0:49:38	という記憶があるんですが、
0:49:40	考えその認識で間違っていないでしょうかどうぞ。
0:49:51	はい。中央病院の先生は、今羽鳥様が言われたのは保守管理の話でしょうか。
0:49:58	規制庁のハットリですはい保守管理の運用、保守の方の運用の方です。
0:50:04	どうぞ。
0:50:06	あ、はい。中国電力伊佐です。はい。ですね。
0:50:10	まず保守管理につきましては、すみません、少しお待ちください。
0:50:22	あ、すみません失礼いたしました。
0:50:24	まず設置許可の方ですね、この縮小補修管理につきましては保全計画に基づき適切に管理していくということをご説明させていただいております。
0:50:33	今回工認資料の中で
0:50:36	ちょっと今回説明のちょっと資料から抜けておりますが、目次のところにですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:41	参考資料 3 というところで、保守管理についてご説明するということをご説明するところをちょっと意思表示だけ過ごさせていただいております。
0:50:48	今後縮小工の方今回コメント等含めて回答する時にですねこの保守管理も含めて、
0:50:55	ご説明させていただきたいと考えております。以上です。
0:51:00	規制庁の服部ですはいすいません目次のところは赤いところしか見てなかったんですけども、参考資料の 4 のところで、
0:51:08	保守管理についてという説明があるということですね。
0:51:12	これは、
0:51:15	先ほどちょっと来聞いたんですけど、保安規定とかその下位文章には示されるわけではなくてここで示すということでしょうか。
0:51:26	はい。中国電力ヨシツグでございます。
0:51:29	基本的には、運用の話になりますので保安規定に基づくQMS文書を作るようになります。
0:51:36	その中では、の抜粋をですねこの中でどういった運用するかというのは、ご説明をさせていただこう人の中ではそこに、この中でご説明させていただきたいというふうに考えております。以上です。
0:51:47	規制庁の服部ですはい。わかりました。私からは以上です。
0:52:03	すいません規制庁タダウチですけども、ちょっといろいろ教えていただきたいんですが、
0:52:10	まず一つ資料の、
0:52:12	5ー153 ページ。
0:52:18	抗力係数の使い方なんだけどCDの話。
0:52:26	これ、
0:52:28	この中読んでいると、
0:52:32	本来ならこの何まるまる方使うの、何を使うのこれよくわかんないんだけどでも表があるじゃないですか 113 ページにいきなり。
0:52:41	2.01 使い回すなんて話をいきなり、
0:52:46	言ってるんだけど、す最大値だから使えますっていうのは、
0:52:51	ちょっと何かよくわからないんだけど、なんでかっていろんな形状があるうちの表に載ってるからその中の一番チャンピオンデータを使いますとか、
0:53:00	チャンピオンケース使い回すって何、何かちょっと腑に落ちなくてですねそもそも、
0:53:07	抗力係数としてんなんな、なんでこれを選んでんのかって本来なら、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:14	丸く穴がいてるんですよね、抗力求めるのに、すみません機械事務開発課オリフィスを多分、
0:53:24	使ってるんですよねっていうのと全く違って管にさあ、
0:53:28	現場開けてるんだから、それに対するなんか流量係数と抗力係数逆算して抗力係数を使うのかなって気もしたんだけど。
0:53:36	何でいきなりこれ使ってるのかよくわからない。
0:53:39	何ですかね。
0:53:41	はい中国電力の江沢です。はい。今ほど言われたところ、まずですねこの効力出す際にここのケースがございまして、今回の縮小はドーナツみたいな形になっておりますがその形と分類するのが
0:53:58	153 ページをお示ししている。
0:54:01	表では、な道路に該当する方はなかなか説明できないというところでした。またちょっとオリフィスという話もありました確かそちらではちょっと抗力係数がなかなか、
0:54:12	ちょっと出しにくいというところがございまして、
0:54:14	えーとですねちょっと今回この資料浸水防護のこの補足説明資料ではなくてですね、152 ページの方に記載をさせていただいておりますが、
0:54:27	津波の配慮に発刊する補足説明資料、こちらの方ですね、江藤模型実験を実際にやってございます。その上で
0:54:36	2.01 が妥当かというところを確認しております、実際としてましては、
0:54:41	実験では 0.51 という小さな値っていうところまで確認をしております。
0:54:46	それを村を踏まえ、
0:54:48	た上で今回の評価としては保守的、安全が非評価するということで、
0:54:54	衛藤。
0:54:56	今回の 2.01 という値を使ってございます。
0:54:59	ちょっとそちらそこのちょっと経緯がわかりにくい、ちょっと記載になっております。以上、以上でございます。
0:55:09	説明いただき、
0:55:12	まずね考え方としてね、これって、今、いわゆる、
0:55:17	矩形のものに対して免職に当たったときの効力ですよね。
0:55:22	多分ちゃんと説明しようと思ったら、まずそれが正しいかどうかっていうことで、
0:55:27	148 ページの図 3-1 で、
0:55:29	例えばね、このV聞くと、中心軸を書く。
0:55:36	ところで結んでいくと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:37	扇形ができてきて、基本的にそのマイクの部分取ると、ある程度矩形に近いものになるじゃないですか、いわゆるこういう微小要素がたくさん重なって、
0:55:48	このBっていうのが、
0:55:50	僕は思ったのは、
0:55:53	式は、そっか、か、さっきの 153 ページのところが、この
0:56:00	内径の修文脱っていうかね、考えたときに、グルーッと、
0:56:04	長方形にい展開するとそういうふうになるというふうに考えて決めたのかなとそれが多分、今数字としては無限大つしかないんで、それが一番抵抗が大きいでしょうということ考えたのかなと。
0:56:15	それは悪の仮設しかないでしかないので、
0:56:20	基本的にはその実験等で、
0:56:23	それに類似してるものがあればその妥当性、それ、その仮説に対しての妥当性っていう説明はする必要があるんじゃないかと思いますけどいかがですか。
0:56:34	はい。中国電力ヨシツグでございます。
0:56:37	はい。江藤今枝さんおっしゃられた通り、この
0:56:40	まず考慮くう 2 課抗力の式がございましてそこに出ている抗力係数というもの。
0:56:47	この抗力係数の表の中から算定するようなものになっております。で、
0:56:54	他のものはですね、厚みを持ったような、もしくは旧タイのようなそういった構造の効力になっておりましたので、今江崎さんおっしゃった日アノ平板野。
0:57:04	この計数のものが使うとしては、
0:57:07	一つなのかなというふうに加え、今回の流路縮小工の版として考えたときにはそうなのかなと。ただ
0:57:14	先ほど磯田が説明した通り
0:57:17	経営の穴が開いてるようなところというものが、このケースの中で、
0:57:22	なかなか説明できないということもありまして、それを実験場で確認をさせていただいて、
0:57:30	実機の値そのままを使うというのもあったんですけども、本間もともと平井他のナカノを、その中でも最大値、
0:57:40	厚さ方向っていうのは先ほど江崎さんおっしゃられた通り決めきれないというところがございまして、最大値の 2.01 というものを使ったという

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ような経緯でございます。ちょっとこの辺りはですね、我々が係数つくった考え方というところの記載が少し、
0:57:54	不十分でございますので追記の方さしていただけたらと思います。
0:57:58	以上です。
0:57:59	規制庁にあたってその実験がまだ見まエミたんでしたっけ我々。
0:58:04	許可で忘れたけど、じゃそれをもう一度再掲していただいて、ええ。
0:58:11	もう一度ここやっぱりその許可で説明しても、工認図書としてのその設計定数の
0:58:18	そこを根拠になるものはやっぱり、
0:58:22	設置校から引っ張ってくるんじゃないくて、購入の図書の中に落とし込む、または補足説明書に落とし込むっていう形にしておかないと、
0:58:30	それが読み機こういった条件の、その妥当性とか読みきれなくなっちゃう適用性とかね。
0:58:36	そういうことがないように
0:58:38	これだと深井ていただいて、
0:58:40	その中基本的にこの 2.01 を選んだ。
0:58:44	麻生妥当性っていうのはそこで説明できるんだと思うんで、ちゃんとそれはちょっと説明を加えてください。
0:58:56	中国電力の清水です。はいこちら先ほど磯田が申したように、津波配慮の説明書に関する補足説明資料として工認の中で説明してございますので、
0:59:08	あまり重複するのもあれなので、次回のヒアリングの時に一緒にこちらを抜粋して、提出するとして、
0:59:18	わかりやすいように、説明させていただきたいと思います。以上です。
0:59:33	規制庁のタダウチです合理的な方法でね、比較論でね、とりあえずこれ使いますというのは構わないんだけど、
0:59:45	ある程度の考え方はしっかりとまとめてくださいねというところを伝え、申し上げておきます。本来だったら抗力係数決めるのは、
0:59:57	これ今表に載ってんのは、物体を
1:00:00	よけるっていう話で、
1:00:03	書いてあるもので、
1:00:06	例えばスリット状のものをよけていく話小穴状のものをすり抜けてくって話は、本来話が違うんです流体流れのところから言ったら、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:17	さっき何かいろいろ細長いのが集積してなんて話で面積積分の話いったら通常円形のやつは三角形の積分でやんなきゃいけなかったりとかねいろいろあるんだから、
1:00:28	穴が空いてたらじゃあ台形積分でやるとかね。
1:00:31	そうすると上程助かって掛ける高沢で2分の1の形状のやつって、どうやって模擬していくのかっていうのは本来考えなきゃいけない話だと思ってるんだけど、
1:00:41	そうは言っても実験の値に対して表に載ってるチャンピオンデータっちゃうかね、そういうもののの中の一つを代表としてとることによって、十分と保守性があるんですっていう説明説明なりあれば、
1:00:54	そういった考えもあるんだけど今回そういった売り保守性を十分にとるってことでこのデータ取りますっていう考え方じゃ踏襲するような形での説明をしっかりとっていただきたいと思います。
1:01:06	そうじゃないと、もう理屈が全く合わない。
1:01:10	物の流れに対しての抗力の話をねここで設定するって話に対してねえいやでこれでいいですなんて話は僕は本来ありえないと思ってるから、ちゃんと考え方本来ね、やってくださいねっていうところだけ示してください。あとはもう説明としてどう合理的にやるかはもう、
1:01:26	御社の自由だと思ってるんで、そこはこちらとしては十分な保守性があるんであればそら、合理性があるって判断をするしかないと思ってるんで、それは構わないです。
1:01:36	抗力係数だとか別に、それでいいです。
1:01:41	もう一つ、
1:01:44	166 ページ。
1:01:47	さっきからちょっと問題になってるんだけど、取水管とね、これ一取水数のね。
1:01:55	躯体構造との取りつけてどうなってるのこれ単純に管がコンクリートに埋まってるだけ。
1:02:03	なんかフランジで止まってる。どういう固定方法になってんですかこれ。
1:02:13	中国電力の清水です。
1:02:15	はい。基本的には躯体の中に、
1:02:18	取水管が埋設されている格好となっておりますが壁の前後に当間フランジのようなものがついてございまして、
1:02:28	166 ページの方にも、図 4.4-3 の左の方に書いてございますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:34	こういった構造となっております。以上です。すいません。規制庁タダウチですけどだからこのフランジの部分が、躯体を何か躯体にその取水管固定するようなものに使ってるかったら使ってないってことですよねきっと。
1:02:51	中国電力清水です。
1:02:53	はい。そのような使いアノふうには設置されてございません。以上です。
1:02:58	はい、規制庁タダウチそうするとね、多分このフランジって定期検査とか、取水槽のメンテナンスをやるときに、片っぽ水槽書こうとしてからにして、
1:03:11	水が万が一入ってこないための止水版を設置するためのフランジじゃないんですかこれ。
1:03:25	はい。ご苦勞で、すいません中国電力ヨシツグです。
1:03:29	当初設計施工のときに、今おっしゃられる通りこのフランジのところを止水版をして、設計施工して、
1:03:40	南側の取水槽ができた後に
1:03:43	判を取った時のフランジでございます。以上でございます。規制庁タダウチそうするとね、取水管側のフランジ自体も、とても津波に耐えるような構造ではないっていうことになるんじゃないんですか。
1:03:55	だって津波想定してこの止水版のね取水管のフランジ設計されてるわけじゃないですよ。
1:04:02	はい。中国電力吉富でございます。当時そういった、もちろん設計はしてないんですけども今回そこを確認しに行ったというものでございます。以上です。はい、わかりました。そうするとやっぱりこのンドル取水管、
1:04:16	含めた形での強度評価、
1:04:20	調査をしなきゃいけないって話になるんでそこについてはいろんな損傷のモードっていうのが考えられると思うので、そこら辺はさっき
1:04:29	いろいろこちら側からも質問があったと思いますけどその辺を洗いざらいちゃんとをちゃんと抽出してそれに対する照査をしてもらいたいと思います。
1:04:42	それともう一つなんですけど、今今の話に関連してこれね、取水槽で、これ、右、あれ、1、
1:04:52	A系B系みたいな感じであるんですけど、これ、水槽が。
1:04:58	はい。中国電力ヨシツグでございます。ちょっと平面図で申しますと、140 ページ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:06	2、
1:05:08	取水槽の平面縦断つけておりまして、
1:05:12	李、
1:05:15	ルーのところ、
1:05:16	循環水なんですけどその手前側のところに、
1:05:20	PPB系統があるという構造になっております。以上です。すいませんそうずっと規制庁多田です。そうするとねこれ、何かメンテナンスやる時に、どうやっぱりこれ、手前が、音か何か落としてここ水が、
1:05:35	なくなるっていうタイミングがあったりするんですか。
1:05:40	はい。中国電力ヨシツグでございます。今のちょっと点検方法について確認し、整理しているところなんですけれども
1:05:47	図の 2-1-2 のところの真ん中ぐらいにですね、
1:05:56	失礼しました、右側にダクトみたいのがあってその左に少し穴がこう開いてると、あそこが加工都市のところでございます。
1:06:04	そこから、この絵でいくと左側の方は、水が抜けるような構造になってるんですけれども、この、それ、北側のところは、水が、
1:06:16	入っている状態にはなるんですけれども、
1:06:19	もともと高はもう、廃止措置ということでRCWの、
1:06:24	水しか通らないという状況で水流としては非常に短いという状態で、その中で潜水権限なのか機械を使うか、そういった形で点検等の
1:06:35	点検補修というのを今考えているところでございます。以上です。
1:06:39	すいません規制庁忠総数 140 ページの図の、平面図の上の多分、真ん中の四角が何か幾つかあるところここが加工都市ラインになってるから、
1:06:50	左っかわポンプのメンテとか何とかで水が抜けていくんだけど右っかわ要は取水管の方は、もう大体常に水、海水が入ってるっていうそういう想定でですね。
1:07:03	そうするとさっき言った
1:07:07	例えばその水位によってね何か影響が出てくるのかないのかっていう意味では、水水がなくなるような状況はありえないってそういうことでよろしいですかね。
1:07:19	はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:07:21	仮に、大掛かりな補修なりなんなりをしたときには、今のフランジをつけているところに、逆に穴があいてない止水版をつけて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:32	水を抜くということを、計画を立て立てることはあるかもしれませんがけれども、通常の点検等、保守管理上は、そこを水を抜くということはないというふうに考えております。以上です。
1:07:44	規制庁トダテそうすると仮にその津波が来ましたといったときに、必ず水が満たされているか、メンテナンスやて空になってたとしても、確保年でその先には石ころ積んであるから、
1:07:58	その先には津波の水が何か簡単にね、衝撃がね、通じて達することは基本的には想定されないということによろしいですかね。
1:08:08	はい。中国電力ヨシツグでございますご認識の通りでございます。
1:08:18	規制庁だけですけど、私はちょっと事実確認ね、166 ページのね、Ⅱ-4-4-3。
1:08:27	ちょっと先ほど議論してて、ちょっと気になったんですけど、
1:08:31	左側のね、
1:08:33	断面図あるじゃない。
1:08:36	このいわゆるこの取水管、運動管等があるんだけど、
1:08:43	何だ、山側っていうかね、あといわゆる取水槽から外のところにフランジがついてるじゃない。
1:08:48	ここって、その内側のフランジと同じ、多分形状なんだろうなと思うんですけどそれで間違いないですよ。
1:08:57	はい。中国電力ヨシツグでございます。衛藤。
1:09:01	もちろん再度確認しますが以前、図面を見たときでは一緒だったと思っております。以上です。あとね、その取り付けボルトってこの、いわゆるカンドウシを献血してる。
1:09:11	ボルトあるじゃない。そのボールとって、
1:09:13	いわゆるルール縮小工をつけてるボルト方と同じ。
1:09:19	Vの、
1:09:20	材質と、
1:09:22	綺麗なのかな。
1:09:23	はい。わずか中国電力数ももとは永井池田のフランジの、
1:09:30	V7 のところを今回使っておりますので、数是一緒でございます。材質は、も一緒だと思ってますんで、
1:09:38	ヨシザキイワサ、富士のオクの方はさ、基本的には土の摩擦とかって、どんどんシールドトンネルと同じでさ。
1:09:48	んじゃちょっと事故報告後、引張力に対してとか、推進力に対して、だんだん減っていくわけだね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:56	一番厳しいのはこの、
1:09:59	こうと。
1:10:00	近いところでね不利になるところですねそれで今内側の方、
1:10:05	のところはやってるけど外側、
1:10:07	今は外れてすぐ抜けてくることはないだろうけど、
1:10:11	だけどやっぱりそこは止まってるとっていうのが、一応、多分条件なってると思うんで、
1:10:17	このような大材質で、検討するのかわからないのかを話しますけど、検討省略できる理由はつけといてもらいたいなと思うんですけど。
1:10:26	はい。中国電力ヨシツグです。了解いたしました。
1:10:30	ちょっと図面と確認してですね、こういったものになってるか、再度確認させていただきたいと思います。以上です。
1:11:08	規制庁のハットリです。
1:11:10	と先ほどの議論、事実確認。
1:11:14	を踏まえてちょっと私ちょっともう1回、次念のために事実確認させていただきたいんですが、
1:11:19	どのページでもいいんですけど例えば188ページ。
1:11:27	ちょっとこれはちょっと私の記憶間違いかもしれないんですが、
1:11:31	金。
1:11:33	今気づいたのはこのピット閉塞、ピット部閉塞って書いてあるんですけど、
1:11:39	許可の時ワー
1:11:41	このピット部農水がー
1:11:45	地表面より高くなるカラー
1:11:48	流路縮小工を、
1:11:50	つけたんじゃなかったんでしたっけ。どうぞ。
1:11:57	中国電力のセイキです。
1:12:00	こちらのピット部の水位がですね、必ずしも高くはないということを設置許可の中で説明させていただいたと思っておりますそれは
1:12:11	もともと流路縮小この位置ではございませんで、初めはこの青色のハッチと緑色のハッチの間に、コンクリートのマウンドのようなものがありまして、そちらにマウントをつけるとこの
1:12:23	今ご指摘いただいたピット部閉塞のところから水が溢れやすくなるのではないかなというような指摘をいただきまして、
1:12:31	少し触れやすくなるんですが触れるっていうことは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:35	なかったかと思いますが、より効率的なのは、現在の取水管の方に付ける流路縮小工であるということが
1:12:46	設計の進捗とともにわかって参りまして、現状の流路縮小工となったということが他ピット部の方は、閉塞させていただいているということでございます。以上です。
1:12:56	規制庁の服部ですはいいろいろ支障コウノ形態とか構造が変わったのはわかってるんですけどちょっと私が気にしてるのは、
1:13:05	許可のときに、どこ農水が、
1:13:11	8.8メートルより高くなるので、
1:13:14	流路縮小工によってその水位を下げる。
1:13:18	ことにしたんでしたっけっていうことをちょっと念のために確認したかったんですがいかがですか。
1:13:30	はい。中国電力ヨシツグでございます。今の
1:13:34	除じん系のポンプ室の方側のところで、ダクト分ピット部のところは、水は上昇か、少し変わるんですけどそこは上がるということではなくて、今回はあくまでも
1:13:47	流路縮小工そのものの直上部に、
1:13:50	当たりますので、ここは0度閉塞をしてですね、補強するという観点で
1:13:57	閉塞工事をさせていただくというふうに考えております。以上です。
1:14:02	規制庁のハツトリですはいわかりました。何個許可の時はここを閉塞するという計画はなかったんですよ。
1:14:09	でも、その時に、ここから溢れるから流量縮小工をつけたというわけではなくて、むしろこの
1:14:16	緑のところから溢れるので、流路縮小工で水位を下げたということだというふうに再認識したんですが、それでよろしいですか。
1:14:27	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。今羽鳥さんがおっしゃっていただいたことを設置許可のときに議論させていただきました。以上です。
1:14:36	規制庁のハツトリですはいわかりました。
1:14:39	ちょっと少し気になったのは先ほど書こうとしての話があって、
1:14:43	その点検のときに書こうとしを占めてるときに、津波が来たら、
1:14:49	ここから溢れるのかな。
1:14:51	とちょっと思ったんですが、ふと見たらここ閉塞されていたので、
1:14:55	あれそれ検討されてるんですかって聞こうと思ったら閉塞されていたので、閉塞されてるなら問題ないな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:01	というふうに思っ、あれどうだったかなっていうことでちょっと確認をしましたが、はい。確認ができましたので、わかりました。
1:15:10	ちなみに、
1:15:11	2号機の場合ワー
1:15:14	書こうとしようとして、
1:15:17	取水槽の方からにしてるときに、津波が来た場合に、
1:15:24	その手前カラー
1:15:26	水が溢れるという除じん機エリアかな。
1:15:31	加工少し落としたときに津波が来た場合の影響って、
1:15:36	問題ないんでしたっけ。
1:15:55	中国電力清水です。少々お待ちください。
1:16:51	中国電力のセイキです。
1:16:54	少し、これまでの計算の経緯等を確認しまして、後日回答させていただきたいと思います。以上です。
1:17:02	規制庁の服部ですすいませんもう、今ちょっと聞こえなかったのもう一度お願いします。
1:17:09	中国電力のセイキです角落としを落とした際の、津波の評価っていうところを検討できているかどうかタイアノ。
1:17:20	確認しまして、後日回答させていただきます。以上です。規制庁のハットリですはいわかりました。今ここで対面側から加工年より手前に開口がないより海側に開口がないんじゃないかということも、
1:17:32	話がありましたのでそれぞれであれば問題ないと思いますので、少し確認だけしてまた
1:17:38	適切なヒアリングの時に説明していただければと思います。以上です。
1:17:53	はい。規制庁の千明です。
1:17:56	流量シュクショク法について他、何かありますはい。
1:18:09	規制庁の谷口です。
1:18:12	記載の仕方、記載についてちょっとお願いします。
1:18:16	150 ページ目のところから 160 ページ目にかけて荷重能部分が記載されているんですけども、
1:18:25	この文章に書いてある、例えば、津波ジャージープラスPから頂上ジャージープラス、
1:18:33	B+KSDって書いてあるんですけど、
1:18:36	固定荷重っていうのは場合で言うところの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:40	荷重組み合わせの荷重組み合わせ商標の 4.2-1 の固定荷重と、どれがそこれに対象になりますか。
1:18:51	この躯体の自重というのがPになるのか。
1:18:57	中国電力清水です。152 ページをご覧ください。
1:19:04	こちらの荷重の設定(1)固定荷重としまして流路縮小構成する部材の自重を考慮するということで記載しておりましてそのように、考慮しております。以上です。
1:19:16	はい。私が言わんとしてるのは、ここでGとかP+KSDとか書いてあるところが具体的にこういう荷重の組み合わせ表の中に記載をしておくことが可能じゃないかなと思ってて、
1:19:31	例えば、新スイーツ並みか上は、
1:19:35	この過剰組み合わせ方の右、この表の中の浸水か。
1:19:41	津波荷重というのが、
1:19:43	PアノKSDだし、
1:19:46	それから余震荷重は、このここに書いてあるケースDと一致してると思うんです。そういう表記の仕方を、この文章と書いてあるものと表等をきっちり合わせていただいて、
1:19:58	それから次の荷重作用についても、
1:20:01	静水圧とか郡抗力とか水力も、そのあとのページで例えばPとかFDとかいう記載の仕方をみんなしてるので、
1:20:11	基本的には同じような記載の仕方を、
1:20:14	この作業のずっと表の中に記載をしていただけないかなと思ったんですけどいかがでしょうか。
1:20:23	中国電力志水です。失礼いたしました。表の荷重の組み合わせの表の中に、1 列、加えてですねどれがGになってからどれがPになっているかということ、
1:20:35	記載したいと思いますしサイボウズの方でも、
1:20:40	10 日中の後ろに括弧Pとかいうところを記載して対応がわかるようにしたいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。それで、
1:20:50	ここで書いてある、取水口位置での水位と取水槽での水位のこの差が、
1:20:57	津波荷重の
1:21:00	上へ、上流下流の水位差にという、
1:21:06	ΔH というふうの評価してるということになるんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:12	中国電力清水です。はい、ご理解の通りでございます。はい、わかりました。その辺も何気なく書いてあるんだけど基本的には、この、この水位差で評価してるんだっていうことを書いておいてください。よろしくお願いいたします。
1:21:28	中国電力清水です。はい承知いたしました。はい。以上です。
1:21:38	はい、規制庁チギラです他、流路縮小工について、何か確認する点ある方、いらっしゃいますか。
1:21:46	というのは流路縮小工については以上としたいと思いますが、次の新規で説明が、
1:21:54	幾らかかるということで、ちょっと区切りがいいのでここで一旦休憩を入れたいと思いますので、
1:22:00	また休憩後、再開したいと思います。
1:22:05	はい。規制庁チギラです。それではヒアリングの方を再開いたします。続いては、逆転溶液について、説明の方をお願いいたします。
1:22:16	はい中国電力のユリです。それでは防波壁逆T擁壁の逆TAと共同計算書に関するご説明させていただきますがちょっと説明の前に2点補足をさせていただきます。
1:22:28	まず1点目につきましては漂流物衝突荷重についてでございます。
1:22:33	今までの御説明の審査でのご説明の中で、漂流物衝突荷重につきましては2種類の衝突荷重ということで、局所的な荷重とですね、あと施設全体の荷重ということでご説明させていただいております。
1:22:46	今回の逆Tの資料では、その二つのうちの施設全体に作用する衝突荷重のみを作用させております。
1:22:55	こちらの考え方につきまして、今回の資料にはちょっと記載ができておりません申し訳ございません。説明が前後しますけれども、こちらの考え方につきましては、
1:23:05	後程12月21日の時にですね、3週間工程表にもちょっと記載しておりますけれども、漂流物対策工のヒアリングがございます。こちらの方で詳細な考え方をご説明させていただきたいと考えております。
1:23:20	あと、補足の2点目でございます。
1:23:23	2点目につきましてはナンバー3の資料逆T擁壁の共同計算書の方でございます。添付の図書でございますけれども、
1:23:31	こちらの10月に第6回補正のときに提出させていただいたものをですね、もう一度再掲させていただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:39	そのあとですね逆T擁壁の耐震計算書の審査進んでいきまして、断面選定だったりいろいろな条件が変更になってございますけども、
1:23:48	ちょっとこちらが反映できてございません。ですので結果につきましては55段目のみとなっていたりちょっと古い情報になってございます。
1:23:56	こちらの最新刊間に合いませんでしたけども、以降のヒアリングの方で最新化させていただきまして、ご説明させていただき、いただきたいと思います。以上です。
1:24:07	はい。規制庁木村です。
1:24:09	はい。二つあって一つの方、1点目の方なんですけど、これちょっと資料見ていてですねあれどうなったのかなと思っていて、ちょっと確認をしたかったんですけど。
1:24:21	今おっしゃられた話だと漂流物衝突荷重石油の貯蔵使って2種類あって、
1:24:29	今ないのが、局所的な衝突荷重っていうのは、今ないんですけど、
1:24:36	これは結果としては、後日、その辺りも考慮して評価をするということで、今そういう説明。
1:24:46	なのか、それとも、
1:24:48	二つのケースを実施するっていう方針だったんですけどその方針を変更するのか、どちらなのでしょう。はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:25:02	整理が遅れておりまして申し訳ございません。局所的な衝突荷重につきましては、どういった部位にぶつけるべきものかということは今整理をしております、
1:25:12	基本的には今回の逆T擁壁のところにつきましては
1:25:16	漂流物対策工、
1:25:18	を全面にすべて設置いたしますので、それにぶつかる。
1:25:23	加重で、そのあと、
1:25:25	それに伴いまして、協力対策工が健全かどうかというきのために使うものとしておりまして、
1:25:33	施設全体にかかるものが、やはり防犯以外には一番厳しい荷重だと考えておりますので、公益側にはその荷重を今入れようというふうに考えてますんで、
1:25:43	この考え方が、今、
1:25:46	逆T擁壁のことを言いましたけれども3タイプございますし、扉のところもございますので今それを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:54	再整理してですね、来週ご説明させていただきたいというふうに考えております。以上でございます。
1:26:04	多分漂流物対策工だけに局所、
1:26:08	的な漂流物荷重は作用する。
1:26:12	としたとしてもその
1:26:13	背後にあるものに関しても影響ありますよね。
1:26:17	だから、
1:26:18	多分、
1:26:20	荷重として、
1:26:22	大したことないからスクリーンアウトしてるんだと思うんだよね。でそのスクリングアウトしたことをどこかで書かないといけないと思うんですけど、それはどうなんですか。
1:26:31	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。すいません。説明が抜けておりましたけども、そこと施設全体でかかる荷重と見比べたものを含めた、
1:26:42	考え方といったところを、
1:26:44	局所的に当たるものを、
1:26:47	のものとして全体にかかる荷重を見比べて今こちらにかけると貿易の方としては、影響が大きいというところを整理したものを、各構造、
1:26:58	あと部位ごとに今ちょっと整理をしているところでございます。以上です。
1:27:06	規制庁の三浦ですけど、今のところね、
1:27:14	ひゅ対策工の方で荷重分散図るんだっていうことで局所的なものは、また、対策の方にむしろ負担がかかってくるのかなという気はするんだけど、
1:27:25	ちょっと気になったのは、
1:27:27	例えば、今 16 メーターとかっていうのは選果中で、
1:27:31	分布荷重を交戦荷重で入れてますよね。これが、
1:27:35	例えば非常に延長長さが短い、例えば 1 メートルの時っていうのは、
1:27:41	高さ方向に 2 メーター。
1:27:44	横方向にも広がりが見えて 2 メーター。
1:27:49	総数 4 平米ですね。
1:27:51	そこに所得荷重 1200kN ぐらいを入れてやると、分布荷重として見れば、300kN ぐらいになるんですね。
1:28:03	で今設定されて選果中って 215 とか 220 ぐらいじゃないですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:08	そうずっとローカルには今設定している荷重よりも大きなものがある。
1:28:13	ただそれはあくまでもローカルだから、線荷重でいいんだよ、まず全体荷重としては十分にバウンドはできているんだけど、
1:28:21	そのローカルな荷重を無視していいっていうのは、私は何らかのきちっとした解析なんかが要るんじゃないかなと思ってます。
1:28:30	例えば平面的な面として、モデル化してやって、線荷重で入れた部分と、あとこの局所的に入った分布荷重 307360 とかって数字が出てくると思うんですが、
1:28:43	それを入れたものでやはり選果場の方が、
1:28:47	断面照査としては厳しくなるんじゃないかっていうステップが要るんじゃないかなというふうに思ってます。
1:28:53	はい。中国電力ヨシツグでございます。ご趣旨は理解いたしました。
1:28:59	分布荷重として考えたときに、
1:29:04	局所的な、
1:29:06	構造物の部位、
1:29:07	の一部分ところに当たったときどうかという、5、コメントだと理解いたしました。で、おっしゃられる通りで、
1:29:15	部位によるのではないかなと思っております。で、例えば杭のような構造物で、その負担幅等を考えたときにどっちが厳しいのかっていうのもあると思いますので、
1:29:28	ちょっと一概にどうかっていうのはなかなか、今ちょっと巢再整理しているところ、そういったところをちょっと整理をしているところでございます。おっしゃられる通り 1 メーターの
1:29:39	分布か局所的にかかる荷重というのが、元にいる構造物の、どういったところに効いてくるかっていうところもちょっと整理をしてですね、もちろんその分荷重的に厳しい。
1:29:51	ものがあれば、検討してですね追加の件、計算結果をご提示するということになると思ってしております。以上です。
1:29:59	わかりました。今の話に関しては少しやっぱり定量的な、
1:30:04	評価っていうのが必要だと思いますんで、今度ご説明のあるときには、それを含めて、
1:30:09	よろしくお願いします。
1:30:14	すいません。もう 1 点だけ、ちょっと私、
1:30:20	集中荷重、
1:30:22	局所的な過剰って、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:24	あれ防波扉の対策にも作用させるんでしたっけ。
1:30:31	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。ご認識の通りでございます。
1:30:37	規制庁の服部です。わかりました。
1:30:39	何となく、局所的な、
1:30:42	荷重が作用する等、
1:30:44	弾性域内で収まらないような気もするんで、おそらく来週それも含めて説明があるということだと思いますので、それ、そういうふうに思っていてよろしいでしょうか。
1:31:06	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。結果の方を、
1:31:11	来週、
1:31:13	のヒアリングの、
1:31:14	時に併せて結果も含めてご説明できると思っております以上です。
1:31:19	すいません規制庁の服部ですが私結果で求めてなくて考え方。
1:31:24	ちょっと説明があるのかなと思っていて局所的なと部材に局所的に荷重が当たると、そこは局所的に仕上げるような気もするので、それは弾性範囲内に入るのか否かという議論も、
1:31:36	多分出てくるかもしれないんですが、そこら辺の考え方もも含めてちゃんと来週あるんですよっていう、前のための確認だけさせていただいたんですが。はい。中国電力の首藤でございます。はい。
1:31:46	今回は、
1:31:48	漂流物がぶつかる。
1:31:50	構造物、その各部位に対してどういった荷重を与えるべきなのかというところを今整理しておりますのでその説明の中でご説明させていただけたらと思います。以上です。規制庁の服部です。はいわかりました。
1:32:07	すみません、今の話なんですけど、
1:32:10	やっぱりちょっと今年の9月1日の審査会合の中で、施設の延長にかかわらず局所的な衝突荷重を考慮するっていう説明があって、それは共通理解だと思っていて、
1:32:23	その説明の話。
1:32:27	しっかり納得いくような形で先ほどのミウラの話があったようなですね、その辺をしっかり説明していただかないとなかなか理解は、
1:32:37	難しいのかなと思いますので、図全部説明をお願いします。
1:32:43	規制庁の江寄ですけど、単純に言うと、
1:32:47	会合で上げたんで、変えられないことないんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:50	非常に会合で宣言した話なので、その設計方針を変えるっていう話でいいんであればそれなりの合理的な、
1:32:58	説明を、
1:32:59	する必要があってやっぱりその、これ介護案件にはなってるんでしょうから、そういうところでちゃんと合理的な説明ができるような準備をしてくださいと今、内田が言った話になります。ちょっと私の話。
1:33:12	ちょっと気になってるのは、
1:33:14	いまだに漂流物対策工に関しては記載がない状態になっているんだけど、
1:33:20	先ほどの話だと、兵頭物対策工のところで、この12月中に1回説明しますっていうお話でしたが、
1:33:29	それって、
1:33:31	この図書上の扱いってのはどういう扱いになるんですか
1:33:35	漂流物対策工という、
1:33:39	ものの図書ができるんですか、それとも、その今の種図書の中に記載されるんですか。
1:33:52	ちょっと話は続きますけど何でこんな話をしてるかっていうと、分けるとわかりにくいのはその漂流物対策工が防波壁の一部だって今まで話をしていたんだけど、
1:34:04	それが別施設ということで、なるとしたら施設区分が変わっちゃうので、
1:34:09	そうすると、
1:34:10	話がなかなか難しくなるんじゃないかなと思うんですけど、今どのような位置付けで、施設区分を含めてですね、今考えんす。
1:34:20	いわゆる設計を進められているのか、また我々の報告を進めようとしているのかってのちょっと考え方をちょっと教えていただきたいんですけど。はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:34:31	考え方としては、あくまでも、津波防護施設の一部、
1:34:36	貿易もしくは扉の一部という整理で考えております。で、
1:34:40	今の位置付けはそうなんですけれども、⑤の、
1:34:47	資料の目次2ページにあるんですけれども、
1:34:55	その
1:34:56	2ポツの、
1:34:59	2-1-8というところで対策工そのものの、
1:35:02	衛藤、いろんな棒はいきなり衛藤。
1:35:06	いろんな種類の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:08	いろんな位置についているものがありますので、一応ここで網羅的に説明をしようかと思っておりました。
1:35:16	言ったら、私が説明した各貿易に府、もしくは扉に附属する設備なんですけれども、
1:35:24	その上にあります浸水イメージと同じような位置付けで、
1:35:30	その部位だけを取り出して、清伊達を今しようというふうに考えておりました。以上でございます。
1:35:39	規制庁の矢崎ですが、しすイメージとかね、いうのは、各 3 タイプの図書の中に記載はあるんですよ。
1:35:49	図とか、
1:35:51	だけど、一切ないんだよね。
1:35:53	そそう多分そうなんだろう。いわゆる添付資料も同じ話で、それで使用前検査を受けるんですかって話なんだけど、
1:36:04	人通りじゃないもの取り外すってことになりませんか。
1:36:07	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。おっしゃられる通り、被水イメージと、ちょっと設計がまだ
1:36:15	できてないところがあって被水名 G の方はコードつけて対策をつけておりませんので、対策について貿易の中に入れ込むことを考えております。以上でございます。
1:36:28	で、今日は耐震の話ではなくて、耐津波設計としての設御説明があるんですが、前々から言ってるように、例えば
1:36:39	耐震であれば、
1:36:40	重量だとか、いろいろ、
1:36:42	荷重の分力とか働くわけで、その設計の考え方と、実際の防波壁に同様な荷重の
1:36:51	引き継ぎ方をするのか。
1:36:53	という説明が必要なわけで、それらが一切なしで今までの話は聞いているので、
1:36:59	その辺はちゃんと
1:37:02	まずね、
1:37:05	貿易じゃ、漂流物対策工自身は、2.18 っていうことで、一応分離するとしても、基本的には、
1:37:14	あれですよ、それぞれの耐震
1:37:17	耐津波設計の中で、それぞれの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:21	受けた果樹がどういうふうになるのか、その実態そのもの自体がその揺れることによるね、多分鉛直方向だとしたそれだけの変な返信がかかったりすることもあるのかどうか。
1:37:33	ということも考えなきゃいけないので、
1:37:35	そういったものをどう荷重として、今、モデル化されているのかっていうのは説明がないので、そういった説明は、
1:37:43	今後説明はしていただく必要があるんでその辺は十分、うん。準備はしてください。
1:37:50	でね、
1:37:53	いわゆる
1:37:55	今
1:37:56	説明が補足の説明資料なんだけど、じゃあ添付書中でどうすんだか、するのかっていう話なんだけど、
1:38:04	基本的には、
1:38:05	そこは考えといていただかないと、結局、使用前検査を受けるときには、多分、図面的には要目表あるかもしれないけど、
1:38:14	要目表だけではなくて多分こっちの話も多少なりと思って、
1:38:19	図面長を使うんじゃないかなと思うんだけど、そういった類に関し、関して、どう説明するのと、あと防護工はこういう構成添付資料が、
1:38:28	添付のところはどうするか、徹底にするんですか。
1:38:33	はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:38:37	防波壁赤く防波壁で今の経産省自身を問う。
1:38:43	耐震強度計算、それぞれつけておるんですけれどもその中に入れ込もうと思っておりますんで、形として別添が望ましいのか、もう中に入れ込んだほうがいいのかは今ちょっと考えているところでございます。以上です。
1:38:57	規制庁の江崎です。大体のどのような申請、
1:39:03	その体系になるのか、当初の体験に関しては、何となく、
1:39:08	理解はできましたんで、またそれは改めてですね、
1:39:12	渡瀬の資料は12月にできるんでしょうからその時にまた改めて、
1:39:17	所を正確な説明はしてください。
1:39:20	私からは以上です。
1:39:22	はい。中国電力清水です先般からのところの漂流物対策についてはですねまだ資料の中に反映できてないところが多いですね非常に見にくい資料で順番もですね多少前後して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:34	非常に説明が理解しにくいかと思っております大変申し訳ございません。先ほどありました通りですね我々もちょっとアノは、前々の方の資料をですねいろいろと見てですね今後どの資料にどう反映していくかというあたりもですね使用前検査のところも含めてちょっと考えて、
1:39:50	資料化させていただきたいと思います。申し訳ございませんでした。
1:40:01	はい。規制庁の千明です。よろしいですかね。
1:40:04	はい。
1:40:05	それでは、防波壁逆利用駅の強度計算書の説明の方をお願いいたします。
1:40:12	はい。中国電力田井です。それでは防波壁逆T擁壁の強度計算書に関する、節説明補足説明資料について資料⑤を用いてご説明させていただきます。
1:40:23	それでは資料⑤の通しページ 7 ページをお願いいたします。
1:40:28	初めに逆擁壁の構造概要ですが、こちらは 2.1. 3 の耐震性についての計算書に関する本設補足説明資料でご説明させていただきましたので割愛させていただきます。
1:40:39	それでは続きまして 14 ページをお願いいたします。
1:40:45	こちら評価方針でございます。防波壁逆T擁壁の強度評価は、津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針において設定しております。
1:40:55	条件を踏まえて津波時の検討を実施しております。
1:40:58	続きまして 22 ページをお願いいたします。
1:41:04	こちら評価第一種対象断面の選定でございます。
1:41:07	逆T擁壁の評価対象断面は、1.8 津波防護施設の設計における評価対象断面の選定についてで記載しております。対津波評価上厳しいと考えられる断面を評価対象断面として選定しております。
1:41:20	漂流物衝突荷重につきましては、に次のページ 23 ページの表及び図にお示ししてあります通り、先ほども話ございましたが、出演状に応じて増減しておりますが、防波壁逆T擁壁の施設延長が、
1:41:34	9 メートルから 16 メートルとなっております。その範囲においては漂流物衝突荷重が 410 から 430kNパーメートルでございまして概ね同じ値となることから、
1:41:45	評価対象断面の選定における観点には考慮しておりません。
1:41:49	続きまして 28 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:55	荷重及び荷重の組み合わせについては抜粋して説明させていただきます。
1:42:00	(2) 遡上津波荷重でございますが、それを津波荷重については防波壁前面における入力津波、津波水位のEL11.9メートルに余裕を考慮しました津波水位 12.6メートルを用いることとしまして、
1:42:15	その標高等防波壁前面の地盤標高の差分 2 分の 1 倍を設計を浸水深とし、朝倉式に基づき、その 3 倍を考慮して算定しております。
1:42:24	その 3 点につきまして表にお示しております。
1:42:28	続きまして 29 ページをお願いいたします。
1:42:32	衝突荷重でございますが、こちらは施設全体に作用する津波漂流物による衝突荷重を設定しております。
1:42:40	続きまして 30 ページをお願いいたします。
1:42:43	逆T擁壁への作用時には漂流物対策工による荷重分散を、荷重分散を考慮いたしまして、図 3.3. 1-2 の通り、高さ方向 2 メートルの荷重分散を考慮しまして消灯、衝突荷重を立木に作用しております。
1:42:57	こちらの衝突荷重を表及び図にお示しております。
1:43:03	続きまして 32 ページをお願いいたします。
1:43:07	荷重の組み合わせを表 3.3. 2-1 にお示しておりまして、荷重の作用図を図 3.3. 2-1 にお示しております。
1:43:17	続きまして 33 ページをお願いいたします。
1:43:21	こちら許容限界についてお示しておりますが、こちらも地震時と同様でございますので割愛させていただきます。
1:43:29	それでは 36 ページをお願いいたします。
1:43:33	こちら強度評価の解析方法でございますが、先ほどご説明いたしました荷重及び荷重の組み合わせに基づく荷重を作用させて、解析コードFLIPを使用し、2 次元静的有限要素法解析により算定しております。
1:43:46	ゴトウ解析手法について下の図にお示しております。
1:43:50	それでは続きまして 37 ページをお願いいたします。
1:43:54	こちら、材料物性及び地盤物性のばらつきについて記載しておりますが、以下の 2 点の理由から、地盤物性のばらつきによる対津波解析時の調達への影響が軽微であると考え、
1:44:06	地盤物性のばらつきを考慮しないこととしております。
1:44:09	1 点目でございますが、2.1. 3 章に記載しておりますが、大戸紫藤の物性のばらつきの影響を考慮した耐震評価を実施した結果ですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:20	基本ケースとばらつきケースの照査値が概ね同値、もしくは同等程度となっておりまして、所達への影響が軽微であることを確認しております。
1:44:29	2 点目といたしまして、耐震評価結果と、後でご説明いたします津波による表土共同評価結果を比較いたしますと、
1:44:37	耐震評価時の照査値は強度評価上の照査値を概ね上回っていることが理由として挙げられます。
1:44:42	こちら、以上 2 点の理由から地盤物性のばらつきを考慮しないこととしております。
1:44:48	続きまして 38 ページをお願いいたします。
1:44:52	対津波解析ではすべての評価対象断面において入力津波に対し、基本ケースを実施しております。
1:44:58	また、防波壁逆T擁壁の前面に設置されています施設護岸並びに基礎ステージを宇井及び福士市は、耐震性が低いことから、それらが損傷し、なくなることで改良地盤側方にも津波荷重が直接作用する解析ケース。
1:45:13	2 としてそちらを実施しております。
1:45:17	では続きまして、39 ページをお願いいたします。
1:45:21	こちらが解析モデル、解析領域についての説明でございますが、2 次元解析モデルは地震時で使用いたしました解析モデルを流用いたしまして、検討対象構造物とその周辺地盤をモデル化いたしました不整形地盤で構成されております。
1:45:36	続く 40 ページから、67 ページまでの材料、材料の物性値を含めモデルにつきまして、記載しておりますが、液状化特性等動的解析。
1:45:47	必要な要素を除きまして、津波時の解析モデルですね地震時と同じモデルを使用しております。
1:45:55	それでは続きまして 68 ページをお願いいたします。
1:46:03	こちら、評価方法のうち、津波地震率を比較しまして津波で変更にあったところだけをご説明させていただきます。69 ページをお願いいたします。
1:46:14	こちら、活動の調査と続く 70 ページに転倒の調査がございますが、こちらの荷重につきまして津波荷重と衝突荷重を考慮した評価方法としております。
1:46:26	続きまして 72 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:31	姿勢明治の津波時の評価について記載しておりますが、Y方向とする法線方向の変位はですね主たる補荷重が法線直交方向に作用する遡上津波荷重及び衝突荷重であることから、
1:46:44	法線方向の相対変位は生じないとして考慮し、しないこととしております。
1:46:52	では以上の条件及び前提を踏まえまして、70、76 ページ以降にですね強度評価結果をお示ししております。
1:47:00	76 ページから 81 ページにかけましては逆T擁壁の曲げ軸力照査及びせん断照査をお示ししております、82 ページにはグラウンドアンカーのシアツ照査をお示ししております。
1:47:11	こちらの結果からですねどちらも発生応力が許容限界以下であることを確認しております。
1:47:18	続きまして 83 ページをお願いいたします。
1:47:22	こちらはグラウンドアンカー関係の調査でございますが、だんだん下の端アンカー力に対する照査を 83 ページに、
1:47:29	続く 84 ページから 93 ページにかけましては、逆T擁壁の活動及び転倒に関する調査でございます。また、94 ページに逆T擁壁底盤の傾斜に関する調査をお示ししております。
1:47:42	いずれも許容限界以下または耐力以下であることを確認しております。
1:47:48	続きまして、95 ページをお願いいたします。
1:47:52	こちらは改良地盤の調査項目となっております、改良地盤の滑り安全率が 1.2 以上であることを確認しております。
1:48:02	続きまして 96 ページをお願いいたします。
1:48:06	こちら改良地盤の局所破壊が津波防護機能へ及ぼす影響についての確認項目でございます、局所安全係数分布の形検討滑り線の重ね合わせによりまして、
1:48:17	滑り線が引っ張り強度に達した要素を概ね通過しております、破壊が生じた要素を考慮していることを確認しております。
1:48:24	またこちらA11 断面及び 4 段目には、せん断強度及び引張強度に達する要素がないこと、また、5 号断面では、せん断強度に達する要素はなく、引張強度に達する要素が局所的であり、
1:48:36	あります。また、最小滑り安全率が 10.33 と余裕を有していることから、改良地盤の健全性を確保していることを確認しております。
1:48:45	続きまして 99 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:49	99 ページから 100 ページにかけまして、津波時の支出、止水目地の変位量に対する調査を行っております。
1:48:59	また 101 ページから 104 ページにかけまして、基礎地盤の支持性能の評価結果をお示ししております。
1:49:05	こちら二つの調査結果につきましても許容限界以下であることを確認いたしております。
1:49:11	続きまして、105 ページをお願いいたします。
1:49:16	ここからはですね先ほど解析ケース 2 でお示しました設護岸並びに基本式イシイ及び布石が損傷したときの不確かさの検討でございます。
1:49:28	こちら、それら基礎STACY及び不被覆石というのが、形状を適切にモデル化し、防波壁の評価を実施する方針といたしておりますが、
1:49:37	それらがですね耐震性が低いことから、
1:49:40	施設護岸、基礎ステージ等が地震により流損傷し、流出した場合の解析ケースを実施しております。
1:49:50	続きまして 106 ページをお願いいたします。
1:49:54	評価対象断面につきましては岩盤上面の深さが最も深く、津波荷重による改良地盤への作用範囲が最も大きくなると考えられる 5 号断面としております。
1:50:04	続きまして 108 ページをお願いいたします。
1:50:08	荷重条件の整理でございます。敷地高以前の式につきましては先ほどご説明しました浅倉式に基づき賛成しております。
1:50:17	また敷地高いすい深につきましては、谷本式によりまして津波高、高さの 2 分の 1 を入射津波高さとして定義いたしまして、生命における発強度が入射津波高さに相当する静水圧の 2.2 倍として算定しております。
1:50:32	白尾左様ぞ、下のずーっとですね、遡上津波荷重を表にお示しております。
1:50:38	続きまして 109 ページをお願いいたします。
1:50:42	こちら、以上の条件を踏まえた評価結果を 109 ページから 112 ページにお示ししております。
1:50:49	施設護岸と、基礎ステージ等が損傷した場合においても、逆T擁壁の取材の発生応力が許容限界以下であることを確認しております。
1:50:59	それではツヅキ文字 113 ページをお願いいたします。
1:51:03	また、評価結果の中にですね局所安全係数分布についても確認しております、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:09	せん断強度に達する要素がないことをまた引っ張り強度に達する要素が局所的であり、最小滑り安全率が 10.19 と、余裕していることから、改良地盤の健全性を確保していることを確認しております。
1:51:22	続きまして 114 ページをお願いいたします。
1:51:26	ここからですね強度評価に関する影響検討の章になります初めに鋼管杭の影響検討についてご説明させていただきます 115 ページをお願いいたします。
1:51:37	こちら、強度計算の影響度計算結果に、のうちですね、照査結果が最も厳しい 5 号断面を選定しまして、鋼管杭をモデル化し、鋼管杭による共同評価への影響を確認しております。
1:51:50	こちらの鋼管杭のモデル化や表現回答につきましては、地震時と同じものでございますので割愛させていただきます。
1:52:00	それでは、照査結果でございますが、
1:52:04	続きまして 122 ページをお願いいたします。
1:52:08	鋼管杭をモデル化しました。強度評価の結果といたしまして、いずれの部材においても照査値が許容値を満足しておりまして、入力津波に対して、鋼管杭を残置することによる防波壁の
1:52:20	浸水防護機能を喪失するような悪影響がないことを確認しております。
1:52:25	続きまして、124 ページをお願いいたします。
1:52:29	改良地盤への影響についても確認しておりまして、引っ張り強度に達した要素が局所的であり、担当推薦の保持に影響するような流入経路が形成されないことを確認しております。
1:52:42	続きまして 125 ページをお願いいたします。
1:52:46	こちら地震時でも、確認しました通り、
1:52:49	ヒンジ結合への移行に伴うひび割れが発生せず、浸水防護機能が喪失しないことを確認しております。
1:52:57	こちら 2 次元静的 FEM 解析結果から、杭頭部の応力を抽出しまして、近似結合に移行する応力状態に達していないことから、鋼管杭を残置することによる浸水防護機能を、が喪失するような悪影響がないと判断しております。
1:53:13	続きまして 127 ページをお願いいたします。
1:53:18	こちらが 5 号断面位置でのグランド安価仕様反映した影響検討としております。5 号断面のモデル化にあたって、さらなる保守性を考慮するため、岩盤深さが深い 5' 断面位置での、
1:53:30	地質断面図及び明石を用いております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:34	しかしグラウンドアンカーの照査値が両断面で同等になると考えられますが、照査値が 0.8 以上と厳しくなると想定されることから、
1:53:44	5 号断面 1 の案箇所を用いた解析モデルによる影響検討を実施しています。
1:53:51	こちら、照査結果がですね 131 ページからお示しております。
1:53:57	本検討の結果ですね、アンカー仕様を 5 号断面とした場合の評価がですねアンカー仕様が 5' 断面の時と比べまして、有意な差はなく、その影響が軽微であることを確認しております。
1:54:08	最後に 136 ページをお願いいたします。
1:54:13	5 号断面を対象としました施設護岸の基礎整地等の損傷による不確かさの検討につきましてもですねグラウンドアンカーの仕様の変更による影響を確認しておりまして、
1:54:24	そちらの不確かさの検討においても、照査値は 1.0 を下回っており、プランなんかの機能を損なわないことを確認しております。
1:54:33	逆T擁壁の強度計算書に関する補足説明については以上になります。
1:54:38	はい、規制庁チギラです。それでは、今説明いただいた内容について確認する点がある方。
1:54:47	規制庁の矢崎です。今あったですね、
1:54:50	いわゆる⑤断面と⑤'断面のね、アンカーの仕様の違いでっていう話なんですけど、
1:54:59	一応ですね 132 ページに書いてあるように、実際ノダン⑤断面としては、大体 0.819 っていう形になるんで、
1:55:10	一応これも工認記載。
1:55:14	当初、
1:55:16	した方がいいと思うんですね、括弧書きでもいいんですけどそれなりにその実際の⑤。
1:55:22	のところの応用、いわゆる 3 檀尾。
1:55:25	ていう記載でえたとしたらって他のところは、この考え方でいったときに、結果だけ見ると、いわゆる、
1:55:35	アンカーの部分が、
1:55:37	弱い部分だけ、いわゆる何ていうんだらう、逆T
1:55:42	擁壁の部分の固定度が低いから、応答は建て替えの事は、
1:55:47	⑤断面の仕様で見ると値、うん。
1:55:50	冒頭が小さいんじゃない、劣って 9 日中だけどほとんど変わらないか。うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:56	そういうことから考えると
1:56:01	実際にはこの丸 5 段目、宇和アンカーとしては一番厳しい状態なんなってるわけですね。多分これからと耐震のやつがやられるんでしょうけど、
1:56:11	耐震の結果もおのずとそうなるんじゃないかなと思うんだけど、もともとその初期張力は 0.81 で、
1:56:18	若干厳し目のところなんで、⑤断面っていうのを、今日限界のところはね、そうすると、うん。
1:56:27	うん。⑤断面で、改新やった時の値もやっぱり間違いなく厳しいんじゃないかなと思うんだよね。若干だけど、それは包み隠さ使えた方がいいと思うんだよね。
1:56:43	はい。中国電力李です。ご指摘の件承知いたしました。
1:56:48	5 号断面の背セイキの位置といいますか、断面通過位置でのアンカー仕様を反映した場合の照査値につきましても添付の方に反映したいと思います。以上です。
1:57:03	あともう 1 点だけあって、ごめんなさいこれはねちょっと 28 ページで、
1:57:08	書いてる話で他のところでもちょっと書いてあるんですけど、
1:57:12	いわゆる遡上津波高さの荷重で、いわゆる実際の入力津波の半分として、
1:57:20	設計を、浸水深、いわゆる進行はの浸水深を使うっていうやつなんだけど、これって確か許可で、
1:57:27	一応歩道サイドの津波の特性を踏まえたとしても、
1:57:33	新効果は実際の入力津波の高さの半分になるっていうなんか確か、
1:57:39	検証してたんですよ。
1:57:47	はい、中国電力ヨシツグでございます。
1:57:50	衛藤。
1:57:51	設置許可のときに、津波のソリトン分裂等が起きるかどうかっていう観点とあと遡上は、かかってくる津波荷重そのものが、
1:58:00	今の既往の算定式の中に収まるかどうかということとす。その時の高さというものを、ご説明さしていただいております。以上です。
1:58:09	で、50 ページ、ごめんなさい。これね。
1:58:14	②の資料も同じで 50 ページに同じような記載があって、
1:58:20	でですね、ここ
1:58:23	確かに谷本式のところで半分でいいっていう話をしてるだけなんだよね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:28	基本的にはサクライしく右心推進として、
1:58:32	算定するっていうか浅倉式のところで入力津波の半分にしていいいなんていう話は書いてないよね多分ね、指針的に。
1:58:39	ガイドでき外部記憶としては
1:58:43	工場技研の資料か何かで港湾の技術技術基準ですか、と解説かなんかでは書いてあるのはわかってんだけど様式で大体2分の1すれば問題ないってのわかってはいるんだけど、
1:58:57	そう、そうは言っても、基本的にはそのためがあって、検証してもらったよね。
1:59:02	書き方しないだけなんでだから、だから
1:59:05	要はいいところ取りをしてるっていうふうに読まれちゃいけないんだよね。
1:59:09	それは大事なことで、
1:59:12	いわゆる
1:59:15	試験を、次は、どのような実験の結果、
1:59:19	のシミュレーション解析か何かで半分だっていう説明をし、していたりしてるんだけど、
1:59:25	基本的には、
1:59:27	いわゆるひもづけをして、基本的には、一応検証2分の1であることを一応検証してあるっていうようなことをどこかで書いておく必要があると思うんだよね。
1:59:37	で、うん。
1:59:40	基本的にこれは添付資料なんで、
1:59:44	図書館で、いわゆる怪文書じゃなきゃ、かかけるとは思うんだけど、
1:59:50	こっちが上位文書に当たるとしたらここには書けないんで別のところに書くという工夫が必要になってくるんですが、
1:59:56	基本的にですねいわゆる2分の1であること。
1:59:59	ということには、に関してはもう検証済みだっていう、
2:00:02	ことはどこかで謳っできるだけ上位のところであっておけばっていうか、宣言しとけば、
2:00:09	基本的に言うとそのあとの怪文書に関してはあまり改めて書かなくても済むと思うんで1回1回、
2:00:16	その辺ちょっと工夫してみてください、1いただけますか今まであまりそこまで。
2:00:21	気使ってなくて、
2:00:22	一応補足説明しようとか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:24	何らかでその立証はしてるっていうことには位置付けにはなってんだけど、やはりここはやっぱりしっかりと、より
2:00:34	しっかり書いた方が、今後、
2:00:37	新たに申請してくるところもそこを見てですね、
2:00:42	しっかりとした図書を作ってくると思うので、ここはちょっと、
2:00:46	記載の工夫をしていただけませんか。はい。中国電力ヨシツグでございます。
2:00:51	了解いたしました。浸水防護の
2:00:54	津波の強度の基本方針等にも津波荷重という項目があって、大きい一番大きいとかそういったところでございますので、ちょっと記載値も含めてかなり
2:01:07	上位文書の方ですね、どういった考え方で荷重を設定するのかというところがわかるようなところに行って、補足説明等にはもう少し詳しく書いて、上位文書を費、
2:01:17	引っ張ってくるような、ちょっとそういった文章を考えたいと思います。以上です。
2:01:25	はい。他何かありますか。
2:01:37	規制庁のタニグチです。
2:01:42	5 番目の資料の 84 ページ。
2:01:45	アノショウジュ物対策コウノ。
2:01:51	84 ページ目のところは逆に 4 駅の活動と、
2:01:56	滑動と転倒に対する耐力の確認のところですけど、
2:02:01	当初故障リブツ対策工の荷重を 250 キロ 100、250kNパーメーターにしてるんですか。
2:02:09	漂流物対策工の荷重は、
2:02:13	どういう経緯で出されてる数字ですか。
2:02:33	中部電力ユリです少々お待ちください。
2:02:39	すいません中国電力のカシマですすいませんもう一度四、五質問の趣旨をご確認させていただきたいんですが、滑動と転倒に対する耐力の確認のところに、
2:02:49	逆T擁壁の躯体重量が書いてあるんですね。
2:02:53	ここに、具体的に少量物の対策の荷重として 250kNパーメーターって書いてあるんですけど、
2:03:02	これは
2:03:05	これどうやって出された数値ですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:08	部長。
2:03:09	中国電力のカシマですみませんでした。こちらが先ほどご議論させていただきさせていただいてる方廃棄の前面に 50 センチの部材厚の
2:03:19	漂流物衝突防止工程の今、検討しておりますので、その荷重をそのまま入れております。以上です。それは、
2:03:29	どっかねそれ、計算した経緯を入れといていただけないでしょうか。
2:03:37	はい中部電力李です。こちらの 250kNパーメートルの計算の内訳ですね、こちらはちょっと資料の中で記載できておりませんので、
2:03:47	どこかアノthe材料物性と、
2:03:51	のところですかね、こちらの適切な箇所にちょっと記載を追記したいと思います。以上です。はい。すいません。それで引用してください。はい。
2:04:00	それから、94 ページ目のところ、同じくこれはブランドなんか
2:04:07	変形抑制効果を確認するために、底盤の最大傾斜。
2:04:12	書いてあるんだそう。
2:04:14	この算定した結果として、
2:04:19	①から⑤段目のやつ。
2:04:22	が書いてあるんですけど、
2:04:24	これワー
2:04:26	この数字の根拠はどこに書いてありますか。
2:04:35	中国電力の田井です。質問のご趣旨を確認させていただきたいんですけども、この底盤の傾斜、例えば 1 段目 4401 分の 1 というのを算出するために、
2:04:46	例えばたとえ、
2:04:48	鉛直方向の変位がどのくらいあって、逆T擁壁底盤の長さはどれくらいあるから 404 分の 1 という数字が出るということです。その辺が、これをこの数字出した。
2:05:02	時の、今、1 度高須とかそういう判断で計算したんだと思いますけど、それを書いておいていただきたいんです。
2:05:19	はい、中国電力田井です。承知いたしましたこちら底盤の経営シャーのですね数値が算出できるプロセスなり算定式がわかるように記載のほう適正化させていただきたいと思います。以上です。
2:05:35	規制庁の服部です。今のに関連してちょっと確認なんですけど、
2:05:39	ちょっと私わからなくなっただんですけど、
2:05:42	これって、
2:05:44	④の資料でもごめんなさい⑤の資料。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:50	頭のところに、耐震性に関する説明書って書いてあるのでタイトルが、
2:05:55	ちょっと勘違いをしたんですけど。
2:05:59	これはあれですかね、耐震性に関する説明書の中で、津波に対する説明書、説明をしているという、
2:06:07	ことで理解して、
2:06:09	ここに書いてある、経営者というのは、
2:06:13	あくまでも綱ミイ時のときの傾斜だというふうに理解すればいいんですか。
2:06:21	はい中国電力のユリです。今おっしゃった通りでございます。こちらの 2 ページの目次の方ちょっと見ていただきたいんですけども、
2:06:30	今おっしゃったように耐震性に関する説明書というタイトルなんですけどこちらの 2 章のところにですね、それぞれ 2.1. 1 から多重管の耐震性そのあと 2.1. 2 の方で強度計算というふうに、
2:06:43	耐震性と強度計算っていうのをセットで掲載するようにしております。
2:06:48	傾斜の算定につきましては先ほどおっしゃった通りで静的解析で出る傾斜というものを求めたものでございます。以上です。
2:06:55	規制庁のハットリですはいわかりました。とりあえず私から以上です。
2:07:04	あと、99 ページ目のところですけども、
2:07:09	シスイメージの変位量の調査の結果が出されてるんですけど、
2:07:15	止水目地の変位量を評価スルー、解析ケースを、
2:07:20	0 一井で今やってるんですけど、
2:07:24	②のケースっていうのは要は前面の
2:07:28	ものを考慮に入れないでやるケースが解析だと。
2:07:33	思ってますけど。
2:07:34	解析 2 で、
2:07:36	解析 2 ケースの 2 番目でやらない理由は何があるんでしょうか。
2:07:47	はい中国電力のユリです。
2:07:49	今おっしゃったようにですね 105 ページから不確かさのケースということで②の結果を示してございますけども、
2:07:57	こちらの方で
2:07:59	変形の方ですね、とそ止水目地の変形量の照査をやっておりません。
2:08:05	こちらにつきましては結果を見ていただいてもですね、全面なしのケースっていうのが全面ありのケースに比べて、他の照査値見ていただいてももうほとんど、違いがないということで、
2:08:18	変形量の詳細につきましては省略しているものでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:23	ただ、ちょっとその理由も含めて記載できておりませんので、ちょっとこちらに計算自体やっておりますので、それをちょっとお示しするかどうか、お示しすることで考えたいと思います。お願いします基本的に先ほど、
2:08:46	阿曽、その辺記載をちょっと追記して、
2:08:51	川崎市で評価したってことを書いておいてください。よろしくお願いします。
2:08:56	以上です。中国電力リリース承知いたしました。
2:09:05	規制庁の服部です私から少し記載を含めて確認をさせてください。
2:09:11	添付の方はまだ修正前ということなんですけども、一応ちょっと見てしまったので、少し確認をさせていただきたいと思います。
2:09:20	まず②の資料の 31 ページをお願いします。
2:09:29	ここ 2、
2:09:31	復水器周りの防水液が番号で示されてるんですけど、
2:09:36	コニシ側の防水へきってないんでしたっけ、どうぞ。
2:09:47	はい。中国電力ヨシツグでございます。本社側に、今日担当のものをおりますでしょうかどうぞ。
2:09:57	中国のカフジムラです。ちょっと本社側の方でも担当者の方が今不在です。以上です。
2:10:03	規制庁のハットリですはいわかりました。ちょっと改めてちょっとまた説明していただきたいと思います、記載漏れだけだったらそれはいいんですけど、
2:10:12	ちょっと確認だけしといてください。
2:10:16	あと 43。
2:10:18	ページをお願いします。
2:10:20	これも、
2:10:24	まだ記載の適正化ができていないとしても余りにもひどいなと思ったのは、
2:10:28	これ、ここに書いてあるポンプは長尺前のポンプですよね。どうぞ。
2:10:36	はい、中国電力ヨシツグです。はい。その通りでございます。
2:10:41	規制庁の服部です。ポンプの長尺化については許可の時から長尺化されたということで、
2:10:48	すでに話が進んでいるのに、長若干前の、
2:10:53	図面をここに載せるというのは、余りにもちょっと、
2:10:56	間違いとしてもひど過ぎるなということで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:00	ちよつとこゝら辺は、
2:11:03	少し文、誤記にしてもひどいなということでちよつと確認をさせていただきました。
2:11:10	適正に修正しておいていただければと思います。
2:11:16	はい。中国電力ヨシツグでございます。ちよつと確認をさせていただきます。以上です。
2:11:22	規制庁の服部です。あとこれはちよつとあんまり大したことないんですけど 3 番の資料の、
2:11:28	35 ページなんですけど、
2:11:31	ここで 5 の表の 5-1 のところ鉄筋の調査をしていると思うんですけど、
2:11:37	これはAMAGI思考力度って書いてるのは何か。
2:11:42	理由があるんですか。
2:11:44	何となくイメージが曲げ引張応力度かなあと思ってはいるんですがいかがですか。はい。中国電力タイですそちらアマヤ趣向力度が記載間違いでございまして、
2:11:54	引張応力度が正しい記載でございますので申し訳ございません。以上です。規制庁のハツトリですはいわかりました。添付については以上で、適正に記載があるものだというふうに、
2:12:05	認識をしていますのでよろしくお願いします。
2:12:09	それと、
2:12:10	今度補足のほうの⑤番お願いします。
2:12:15	この 23 ページのこの赤枠で囲んだところというのは、
2:12:20	これだけのバリエーションの幅の、
2:12:24	ブロックがT型擁壁にあるということでよろしい。
2:12:28	いいですか。
2:12:30	はい中国電力田井です。はい。その認識で間違いありません。以上です。
2:12:35	規制庁のハツトリですはいわかりました。
2:12:41	すいません 13 ページに戻っていただいて、この大きさちよつと記載の確認なんですけど、
2:12:47	図の 2-2 の中の、
2:12:50	北、北向きの
2:12:52	こうこつてこれ
2:12:54	出ますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:58	はい中国電力ユリです。2-2 の中の一番左上北向きの方向、これで間違いないと認識しております。以上です。
2:13:13	規制庁の服部ですはい確認しました。
2:13:21	規制庁の服部ですすみません記載ばかりで、
2:13:24	108 ページをお願いします。
2:13:27	これも単なる記載なんですけども、
2:13:30	この津波荷重というのは、
2:13:34	防波壁の町伴D0 になるんですけど、どうぞ。
2:13:41	中国電力田井です。津波荷重に関してはその高さが、新ここで言うと
2:13:49	設計用浸水深という言葉を用いておりますが、それに浅倉式では 3 倍した
2:13:56	高さまでを考慮しておりますので、今回はその差分が 2.0 設計を浸水深がですね市がですね下の表にお示ししています。
2:14:05	2.05 メートルでございまして、
2:14:08	それからですね 3 メートル、3 倍しましては 6.01 メートルが入射津波のせい水面上の高さとなっております。
2:14:17	そそちらの 6.01 メートルをですね地盤高さから、足し合わせますと 14.51 メートルとなっております、防波壁天端高の 15 メートルに達しない状況となっております。以上です。
2:14:29	規制庁のハツトリですはい。確認しました。
2:14:43	規制庁の服部です私からは以上です。
2:14:50	規制庁のミウラですけど、
2:14:54	補足説明資料の、
2:14:57	22 と 23 節ハツトリの方から、
2:15:01	先ほど話があったところなんですけど、
2:15:04	ここで 22 ページ見ると、
2:15:06	大体赤で示されたところの荷重が同じぐらいだから、これは評価対象断面の選定の観点に考慮しませんと。
2:15:15	いうことは言ってんですけど、
2:15:17	これ先ほど最初の議論のように、局部的なものを考えても、
2:15:22	選定する必要がないんだっていうつながりがいますよね。
2:15:26	何らか、その部分を、ちゃんとしたエビデンスをもって、
2:15:32	まず評価対象としないんだと、選定達しないんだっていうことは説明してください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:40	はい。中国電力李です。先ほどの議論の中で局所的な衝突荷重ということで話がありました。そちらの整理も踏まえまして、こちらの断面選定のところに、
2:15:53	反映する必要があるのかないのか、そういったところもちよっとわかりやすく記載したいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします私から以上です。
2:16:11	規制庁、大橋です。
2:16:13	⑤番の補足説明資料なんですけれども、
2:16:17	その 74 ページに、
2:16:20	74 ページ共同評価方針の条件があって、記号GAっていうのが、グラウンドアンカーの初期緊張力っていうのを、
2:16:28	先ほどカラーいろんな断面で書いて、緊張力を与えてるっていう話なんですけど、
2:16:35	これ施工してしばらく経つと、
2:16:38	だんだん間力アンカー力が抜けてきて、小さくなるっていうのがよくあるんですが、その管理はどうするんですかね、例えばそれを見越して、
2:16:48	ここで示している数字よりも大きくは火力かけとくとか、
2:16:53	こまめにメンテナンスして、
2:16:55	その度に締め直すとか、どのような、
2:16:59	ことでしょ。お願いします。
2:17:01	はい。中国電力の加島です。今おっしゃられた通りですねこちらも設置済みのものでございまして、定期的に緊張力をチェックして、緩んでいけば、1 枚にして見直すということで、
2:17:13	管理はしておりますので、今後も引き続き同じような対応をさせていただきたいと思っております。以上です。
2:17:20	規制庁大橋です。了解しました。
2:17:23	他ですね、これ実はページ、
2:17:28	別なところで議論が、もしくは説明がされてるかもしれないんですけども、同じ資料の 17 ページの
2:17:35	評価項目ですね。
2:17:37	評価項目の表 2.3――3 の一番下の止水目地の
2:17:44	許容限界が、
2:17:45	有意な漏えいが生じないことを確認した変形量っていう具合にあって、
2:17:51	例えば
2:17:54	浸水扉のアンカーを漏えい試験やったときは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:58	地震と重畳させた場合どこから漏れ、漏れ、漏えいするかっていうと、扉と周辺のコンクリート壁との型枠のところから漏水してくるだとか、あと跳びらー
2:18:12	とその型枠の間に入ってるパッキンルーム使ってますけど、それがはらみ出してきて、変形するとか、複合的な、
2:18:22	漏水現象が起きるんですけれども、
2:18:25	今回の場合、あんまり取水目地って、
2:18:28	ちょっと単純な、
2:18:30	感じも浪費するのかなっていう。
2:18:33	止水目地そのものが伸び切ってしまうとか、まとめてあるアンカーボルトが緩むとか、
2:18:41	そういうぐらの漏水。
2:18:43	の形、モードを考え、
2:18:46	ぐらいしか思い当たらないんですけどもこれは実際、
2:18:49	どういう状況で漏えいするっていうことが想定されるか、ちょっと説明したい。
2:18:56	してますかね。
2:19:18	でも、
2:19:24	厳しいと。
2:19:37	ん。だからこのゴムジョイントが伸び切っちゃうとか、
2:19:42	シートジョイントが折り畳んでいるのが、
2:19:45	それがー。
2:19:47	日、一本の日のようになって、
2:19:50	伸び切るとか、
2:19:51	そういうことですか。
2:19:54	はい。中国電力吉住でございます。
2:19:57	近藤基本試験をしてですね、教育委員会に満足していることを設定しております。で、こういった時に有意な漏えいが生じるかと。
2:20:09	いうところなんですけれども、やはり地震時であれば、そのゴムの許容限界以上伸び切る。
2:20:16	いやゴムの体力に対してどうかというようなことが想定としては考えられるのかなと思います。で、
2:20:22	津波につきましては、逆に津波の発がかけられますので、同じくゴムの、
2:20:28	ところ、あとは、その裁判で押さえているところが、余震との重畳等でですね、もし緩んでいると、基本Ss設計をしておりますので余震で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:39	緩むということはないんですけどそういったときに考えられるのだと思っておりますけれども、基本は、
2:20:46	衛藤。
2:20:47	漏えい。
2:20:48	はさせないように、教育委員会としては設定しておりますけど、文章上はこういったことを使わせていただいているというものでございます。以上です。
2:21:00	はい。文章表現的なものだということで理解しました。以上です。
2:21:21	はい。規制庁の仲村です。私も記載のところなんですけども、1 点ですね、さっきも 94 ページ、資料、
2:21:32	5 ですね。
2:21:33	5－94 ページとかで出てきたんですけど、93 ページまでは結構丁寧にですね、エビデンスのところつ説明してもらってるんですけど。
2:21:44	急に 9495 のところですね、結果だけが示されてて、94 は出ましたけど 95 ページも、これも最小滑り安全率がポンと出てるんですけど、
2:21:56	おそらくあれ、
2:21:58	滑り線を引いていく、何本か引いてその内から選んでるわけですね。
2:22:04	そうすると、ここもやっぱり
2:22:07	網羅的に、これだけ見たらなんか 1 種類しかやってないように見えちゃうんで、
2:22:14	網羅的にちゃんと滑りを検討を行って、最小滑りだっていうのを示してもらいたいんですけど、いかがですか。
2:22:25	はい中国電力李です。ご指摘の件承知いたしました。94 ページは先ほどご指摘ありましたけど 95 ページの方ですね、次の 96 ページ 97 ページに結果形としては、これだけ網羅的に滑り面。
2:22:40	設定してますということをちょっと記載してるんですけど。
2:22:44	言われたのは多分、評価方法ということだと思いますので、評価方法のところに
2:22:50	こういう網羅的な滑り面を設定してますという旨を追記するようにしたいと思います。以上です。
2:22:57	はい。お願いします。私からは以上です。
2:23:07	はい。
2:23:08	瀬戸チギラ谷津他ありますか。
2:23:11	よろしいですか。
2:23:15	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:18	中国電力の方から何かありますか。
2:23:20	はい。中国電力の鹿島です。先ほどいただいたコメントですねすでに耐震の計算書も一度補足説明させていただいておりますが同様の集計が必要なところもあろうかと思しますので、
2:23:33	今回のコメントを踏まえまして耐震のほうの資料もですね、同様に終了させていただこうと思います。以上です。
2:23:40	はい、わかりました。
2:23:43	それでは全体通して何かありますか。
2:23:47	よろしいですかね。
2:23:49	はい。
2:23:50	それでは、本日のヒアリングの方を終了いたします。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。